

富山大学 教養教育院

令和6年度

# 授業評価アンケートの分析

【Web公開用】

Faculty Development Report

# FD

# 2024

Liberal Arts and Sciences at **University of Toyama**

# 目次

	ページ
・ はじめに	・・・ 1
・ 「学生による授業評価アンケート結果」と教員からの「アンケート結果に対するコメント・改善策等」についての分析	
① 人文科学系	・・・ 2
② 社会科学系	・・・ 2
③ 自然科学系	・・・ 3
④ 理系基盤教育学系	・・・ 4
⑤ 医療・健康科学系	・・・ 4
⑥ 総合科目系	・・・ 5
⑦ 外国語系	・・・ 5
⑧ 保健体育系	・・・ 6
⑨ 情報処理系	・・・ 6
・ 令和6年度学生による授業評価アンケート集計表	・・・ 8
・ 参考資料 学生による授業評価アンケート設問	・・・ 47

## はじめに

近年、AI（人工知能）技術やDX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進展し、大学教育にも大きな影響をもたらしています。こうした変化に柔軟に対応し、学生にとってより質の高い学びを提供し続けるためには、私たち教員が学生の意識や学修行動を的確に把握する努力が必要になってきます。その意味で、学生による授業評価アンケートは、教育改善の出発点として今後ますます重要な役割を担うものと考えられます。特にAIツール等を活用した自律的学修の増加や、コロナ禍以降に増加したオンラインやハイブリッド等の多様化した授業形態に対する変化にも目を向ける必要があります。こうした学生の授業評価は、単なる授業満足度の確認にとどまらず、今後のカリキュラムの設計や教養科目における教育方針の再考にも繋がります。現行のアンケートの設問については、大きく「学生の自己分析（出席・取り組み・学習時間等）」と「学生視点からの授業評価」に分かれています。教養教育を受講する1年生の学生にとっては、主に比較対象がこれまでの高校等で受けてきた教育となるため、大学教員が想定する教育目標と学生の受け止め方の間に齟齬が生じやすくなります。しかし、学生の評価を的確に把握し、その声を授業に反映していく取り組みは、AIやDXが進む社会の中でなお人間的な教育の価値を保ち続ける上でも欠かせないと言えるでしょう。

本報告書では、令和6年度の人文科学系・社会科学系・自然科学系・理系基盤教育系・医療健康科学系・総合科目系・外国語系・保健体育系・情報処理系といった9つの系における学生の授業評価、並びにそれに対する教員の分析と回答、さらには系ごとの評価結果に対する講評を加えた内容を報告しています。

今回の各系における「総合満足度」の結果は、昨年度と比較して多くの系で上昇しており、低下している系についても下がり幅はわずかでした。また、すべての系で5点満点中4点を超える満足度があり、全体を通して学生の肯定的な評価を得られたことは大きな成果であると考えられます。しかし一方で、アンケート回収率の低さは依然として課題となります。今後は、より多くの学生にアンケートに参加してもらえる仕組みや、フィードバックを循環させる仕組みの整備が急務となっています。加えて、アンケート分析の高度化や、自由記述回答のテキスト分析等も視野に入れ、より授業改善につなげていくための工夫が必要だと考えます。加えて、教育の多様化に対応できる設問の改善や、学生が回答しやすい環境づくりについても継続的に検討をしていきたいと思っております。

教養教育院教育改善推進委員会  
委員長 福田 翔

## 「学生による授業評価アンケート結果」と「アンケート結果に対するコメント・改善策等」についての分析

令和6年度の「学生による授業評価アンケート」について、そのアンケート結果に加え、それに対する授業担当教員からの「アンケート結果に対するコメント・改善策等」について、教育改善に資する要因を探るために教育改善推進委員会において分析を行った。分析は9つの系それぞれに対して行い、系ごとの特色の調査を行った。以下に9つの系についての分析結果を示す。

### ① 人文科学系

人文科学系科目は前期に29コマ開講され、履修者数の総数は3136名であった。後期には25コマ開講され、履修者数の総数は2742名であった。1クラスあたりの平均履修者数は、前期108.14名（最多197名、最少2名）、後期109.68名（最多194名、最少8名）となっている。アンケートの回答率は前期に51.1%（最多100%、最少20%）、後期に35.1%（最多54.1%、最少19.6%）で、総合満足度は前期平均4.34（標準偏差0.36）、後期平均4.38（標準偏差0.35）という結果となった。

前年度と比較すると、開講コマ数については、前期に1コマ減、後期に1コマ減となっている。総合満足度については、前年度前期平均4.35（標準偏差0.34）、後期平均4.38（標準偏差0.38）であり、変化はなかった。

学生アンケート結果に対する、教員側からの自己分析コメントを抜粋すると、

「学生のコメントの共有、紹介など、大人数でも双方向的な（教員と学生、学生と学生）方法を取って」

「授業に対する質問・コメント・感想から、授業の理解を深めるのに効果的と思うものを中心に取り上げて、毎回の授業のはじめに時間をとってそれに対してリプライをした」

「学生に毎回レポートの提出を求め、感想や質問・意見などを次回授業で紹介するなどして応答と復習の機会を確保」

「ディベート、ディスカッション、ロールプレイ等、すべての回でグループワークを実施し、さらに全体で共有する場も位置付け」

「自分の意見を持ち、それを教室で共有する機会を今後も継続して提供」

「授業中に学生からフィードバックをもらい、その都度、授業に反映する」

「質問の機会について、（中略）、毎授業後に一定時間教卓で待っている」

「歴史を題材としているが、現代社会のことも絡めながら、受講者各自がなるべく当事者意識をもって臨んでくれることを意図した内容としている」

「専門的な知見を与えるとともに、その知見を活用するということを意識した講義」

などであり、教員はさまざまに工夫を凝らし、学生の学修意欲を引き出し、学生にとってより良い授業を提供しようと努めていることが理解される。

### ② 社会科学系

社会科学系科目は前期に22コマ開講され、履修者数の総数は2720名であった。後期には19コマ開講され、履修者数の総数は1727名であった。1クラスあたりの平均履修者数は、前期

123.63名（最多195名、最少59名）、後期90.89名（最多194名、最少9名）となっている。アンケートの回答率は前期に44.4%（最多63.6%、最少25.6%）、後期に44.2%（最多67.6%、最少20.0%）で、総合満足度は前期平均4.24（標準偏差0.34）、後期平均4.46（標準偏差0.27）という結果となった。

前年度と比較すると、開講コマ数については、前期は増減なし、後期は5コマ減となっている。総合満足度については、前年度前期平均4.07（標準偏差0.29）、後期平均4.22（標準偏差0.35）であったことからすると、今年度は大きく上昇している。

学生アンケート結果に対する、教員側からの自己分析コメントを抜粋すると、

「授業のスライド、授業開始前の確認、導入の実施、Moodle 上でのクイズの出題など学生の授業に必要と思われること、学生に興味を持ってもらえることは徹底的に行った」

「内容を絞り込み、段階を踏みながら繰り返し説明する」

「これから必要になりそうなトピックをもとに解説した点、抽象的な説明に終始せず具体的な事案をもとに解説した点、レジユメのみならず、インターネット上の資料や動画も見てもらいながら解説した点」

などとあり、教員はさまざまに工夫を凝らし、学生の学修意欲を引き出し、学生自身にとって有益な学びとなるよう努めていることが理解される。

### ③ 自然科学系

令和6年度の自然科学系科目は前後期を合わせて24科目が開講された。1科目あたりの履修者数は平均91.5名（最小20名、最大147名）で、100名以上の大規模クラスが8クラス、一方で20名以下の小規模クラスが1クラスであった。総合満足度は平均値4.27（最大値5.00、最小値3.34）であった。授業満足度の平均値は令和3年度の4.01→令和4年度の4.02→令和5年度（昨年度）の4.24と推移しており改善傾向が続いている。回答者が極端に少ない科目がいくつかあり、それらを含めたスコアであることに留意する必要がある。

アンケートの全体の回答率は平均42.7%であり、昨年度の48.0%、一昨年度の44.6%よりも減少している。少人数の高数値/低数値評価と回答率の低さは満足度評価の数値に対する信頼度を大きく低下させるものであろう。今後、学生アンケートの経年変化を考える上で、重要な要因であるため注意が必要であり、アンケート回収率向上に向けた取り組みを検討することが望まれる。

個々の質問項目（全学共通）に対する回答については、概ね平均値がすべて4.0を上回っており、各担当教員の講義法が広く学生から支持されていることを窺わせるデータとなっている。個々の設問の中で、もっとも高評価の数値を示した項目は「この授業の開始前にシラバスを読んだ：4.64」（前年度4.25）である。また、「この授業の内容はシラバスに書かれているとおりにあった：4.56」（前年度4.47）も高い数値を示しており、教養教育院として取り組んできたシラバス改善とチェック、および新生オリエンテーション時にシラバス熟読の指導が功を奏してきた結果であると受け止めたい。そして、講義スケジュールを予定通りに遂行することができたことを窺わせるデータとなっている。

#### ④ 理系基盤教育系

令和 6 年度の理系基盤教育科目は前後期を合わせて 25 科目が開講された。1 科目あたりの履修者数は平均 83.6 名（最小 1 名、最大 184 名）で、100 名以上の大規模クラスが 15 クラス、一方で 20 名以下の小規模クラスが 5 クラスであった。総合満足度は平均値 4.27（最大値 5.00、最小値 1.00）であったが、最小値 1 というのは、回答者 1 名の個人評価であるため、この値を入れずに計算すると 4.40 となり、平均値は昨年度(令和 5 年度)の 4.40 と同値となった。高水準で安定状態にあるとも考えられる。しかし、総合満足度数値は単に全体の平均値で見ると、回答率の悪い科目で不自然に低い値や不自然に高い値が大きく影響してしまうため、データを解析には細心の注意が必要である。特に本年(令和 6 年度)のデータを詳細に眺めると上位 2 科目の満足度が 5.0 点満点中の 5.0 点満点となっているが、いずれも 1 名の個人評価による数値である。したがって、今年度のデータは、下振れの個人評価 1 つと上ぶれ個人評価 2 つが全体平均値に大きく干渉していることがわかる。一方、アンケートの全体の回答率は平均 50.8%であり、昨年度の 54.7%、一昨年度の 60.5%よりも減少している。このような少人数の高数値/低数値評価と回答率の低さは満足度評価の数値に対する信頼度を大きく低下させるものであろう。今後、学生アンケートの経年変化を考える上で、重要な要因であめため今後も注意が必要であり、今後早急に改善しなければならない重要事項である。一方、1 名評価による極端な満足度データを除外して計算しても(5 点満点の 2 科目と 1 点解答の 1 科目を除外して再計算)、満足度平均は 4.35 と概ね良好な学生評価が得られていることは今回の結果より、一応、伺うことは出来たと思われる。

個々の質問項目(全学共通)に対する回答については、先の極端な個人評価を除外しても概ね平均値がすべて 4.0 を上回っており、各担当教員の講義法が広く学生から支持されていることを覗かせるデータとなっている。個々の設問の中で、もっとも高評価の数値を示した項目は「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段(遠隔授業ツールも含む)は授業内容の理解に役立った: 4.68」(前年度 4.57)である。この数値は他の系と比較しても高値となっている。理系の科目は、教員の教育手法により新技術を取り入れた教育手法を実践した教員が多かったことを示すものと考えられる。また、「この授業の開始前にシラバスを読んだ: 4.26」(前年度 4.25)も高い数値を示しており、教養教育院として取り組んできたシラバス改善とチェック、および新生オリエンテーション時にシラバス熟読の指導が功を奏してきた結果であると受け止めたい。そして、この項目は次の設問「この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった: 4.51」(前年度 4.47)と連動しており、こちらも高値を示していることから、講義スケジュールを予定通りに遂行することができたことを覗かせるデータとなっている。

#### ⑤ 医療・健康科学系

令和 6 年度の医療・健康科学系科目は前後期を合わせて 10 科目が開講された。1 科目あたりの履修者数は平均 184.3 名（最小 93 名、最大 284 名）で、従来どおり大規模クラスが目白押しであった。総合満足度は平均値 4.36（最大値 4.60、最小値 4.03）と高い水準にあり、平均値は昨年度より 0.02 下降したが、ほとんど誤差の範囲であろう。アンケートの回答率は平均 45.6%であり、これは昨年度より 4%ほど減少した。今後もアンケートの回答率の改善が望まれる。一方で医療・健康科学系科目に関して、開講科目数は少ないものの総じて講義内容に関する

学生からの評価は高水準で安定しているものと思われる。その証左として、個別の質問項目（全学共通）に対する回答については、平均値がすべて 4.0 を上回っており、各担当教員の教授法が広く学生から支持されていることを窺わせる。特質すべき項目は「学生に 質問をする機会が与えられた：4.23」（前年度 4.21）、「この授業の分野に対する興味関心が増した：4.32」（前年度 4.31）、「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った：4.52」（前年度 4.25）などである。長引くコロナ禍への対応に教員・学生ともに慣れたことも背景にあらうが、個々の教員が前年度の反省に立って、学生の実情や要望を真摯に受け止め、教育改善を試みた結果がこのデータに反映されているものとして受け止めたい。

今後の課題としては、「この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1 週間で平均何時間でしたか：0.71」（前年度 0.65）という結果が挙げられる。前年度と比べて改善が見られるものの、これはシラバスに明記された授業外学習の目安とはまだまだ大きくかけ離れている。一方、各担当教員による「アンケート結果に対するコメント・改善策等」には、ほとんど全てのコメントに一層の改善に向けた具体策が綴られており、学生と共に授業を作っていく姿勢が感じられた。今後、令和 8 年度からの教養改革にも今までの医療・健康科学系科目のこれまでの良いレガシーを発展させるべく改善を進めるべきであらう。

## ⑥ 総合科目系

総合科目系では前後期および集中講義をあわせて 44 コマが開講され、履修者数は平均 102.8 名であった。総合満足度は履修者数 20 名未満のものを除いて最大値 4.84、最小値 3.96 であり、すべての科目の平均は 4.40 であった。回答者数が極端に少ない科目も幾つかあり、それらを含めたスコアであることに留意する必要がある。授業満足度の平均は、令和元年度から 3.86→3.98→4.07→4.25→4.43→4.40 と推移しており、近年は高い数値で安定している。一方で、個別の授業における数値の推移やその要因を詳しく検討していくことが個々の授業改善やより良い取り組みの共有につながるの、細かい検証も必要だろう。

アンケートの回答率は履修者数 20 名未満のものを除いて最高で 67.8%、最低で 14.5%であった。履修者数が 100 名を超える授業でも回答率に 20.7%～67.8%とばらつきがあり、回答率を向上させるための工夫がなにかあるのならば、それを共有することが望ましいと思われる。

## ⑦ 外国語系

外国語系科目は前後期合わせて 296 コマ（英語 178 コマ、初修外国語 113 コマ、日本語 5 コマ）が開講され、1 クラスの履修者数の平均は 37.5 名（英語 42.8 名、初修外国語 30.3 名、日本語 10.2 名）であった。総合満足度は最大値 5.00、最小値 2.80 であり、科目平均は 4.42（英語平均 4.41、初修外国語平均 4.44、日本語平均 4.47）であった。アンケートの回答率の平均は 52.7%（英語 50.0%、初修外国語 55.5%、日本語 81.1%）となり、令和 5 年度（60%）よりも低下した。

個々の質問項目（全学共通）に対する回答については、平均値がすべて 4.0 を上回っており、昨年度と変わらず、広く学生から支持されていると思われる。また、昨年度と同様、Q7.「教員の言葉は聞き取りやすかった」および Q9.「授業中は集中できる環境が維持されていた」は平均

値 4.5 以上であったことに加え、Q8.「板書、プロジェクター、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った」の平均値も 4.5 以上となったことから、より一層の各教員の創意工夫が感じられる結果となった。

授業担当教員の「学生による授業評価アンケート結果を踏まえた自己分析」では、特に大きな問題点は指摘されておらず、各教員がそれぞれ工夫を凝らしたアクティブラーニングを展開している様子が伺えた。本自己分析は、各授業で具体的にどのようなことが行われているかの一端を知ることができる重要な資料であるが、全担当教員が提出しているわけではない。より多くの教員からの提出を促すことができれば、より良いカリキュラム運営につながると思われる。

## ⑧ 保健体育系

令和 6 年度の開講科目数は「健康・スポーツ/実技」が 48 コマ（前期 44、後期 4）、「健康・スポーツ/講義」が 10 コマである。

前・後期合わせた健康・スポーツ実技の受講者数の平均は 40.6 名である。

前期アンケート回答率の平均は 56.25%で、授業満足度の全体の平均は 4.52 であった。

このうち、「この授業の分野に対する興味関心が増した」との質問項目に対する平均値は 4.22 であり、また「この授業に積極的に取り組んだ」に対する平均値も 4.62 と高い値をしめした。今後も初年次学生が、自身の心身の健康に気を配ることや、スポーツを積極的に実践できる講義内容が検討されていくことが望まれる。

一方、講義科目は、この単位を卒業要件単位として「必修」としている学部、実技との「選択」としている学部と違いがあるため、履修者も実技に比べて少なくなっている（令和 6 年履修者数：920 名、1 クラス平均 92 名）。

講義への総合授業満足度は、4.33（回答率 69.7%）であった。総合授業満足度 4 以上の高水準を維持しているが、同一科目名で複数コマ開講している講義については、クラス毎のばらつきも講義内容改善の判断材料になるため、アンケートの実施と回答率向上の取り組みを引き続き検討されることが望まれる。

## ⑨ 情報処理系

令和 6 年度は前後期で全学必修科目である「情報処理」が 42 コマ（うち再履修 2 コマ）、後期に選択科目である「応用情報処理」が 5 コマ開講された。前期の「情報処理」新入生クラスは入学時に指定されており、五福キャンパス文系クラス（人文学部・経済学部・教育学部混成）、五福キャンパス理系クラス（理学部・工 学部・都市デザイン学部混成）、杉谷キャンパスクラス（医学部医学科、医学部看護学科、薬学部別）、高岡キャンパスクラス（芸術文化学部）として約 40～50 名程度が学内端末室で実施する授業である。情報処理系科目全体の授業評価アンケート回答率は平均 63.2%となっている。授業満足度は「情報処理」で平均 4.29、「応用情報処理」で平均 4.60、再履修のみの「情報処理」で平均 3.90 であった。前年度の「情報処理」および「応用情報処理」の授業満足度はそれぞれ平均 4.18 および 4.41 であり、満足度を向上しながら継続して高い水準を維持している。

アンケート回答率は標準的な人数のクラスでも 34.5～97.5%まで大きなばらつきがあり、特に「情報処理」は同一内容で実施しているので担当教員による違いが反映されていると考えら

れる。正確な授業満足度を評価するためには回答率向上が必要不可欠であり、回答率を向上させるためには授業中における担当教員から学生への周知および依頼の仕方が大きく影響していると考えられるため、担当教員へのより徹底した授業内での周知協力依頼を行う必要がある。

# 令和6年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【講義科目】

2024年 前期 授業評価アンケート 教養教育 講義 集計表

授業数

	アンケート対象授業数	回答授業数
実数	286	284
比率	—	99

回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均回答率
2	0	10	26	65	71	37	29	30	14	58%
1%	0%	4%	9%	23%	25%	13%	10%	11%	5%	—

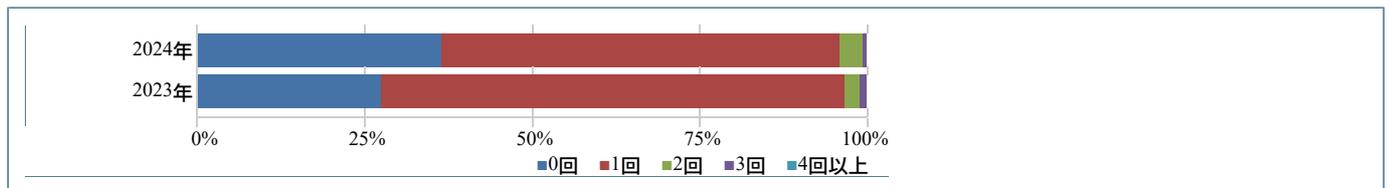
以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。

それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅<sup>1</sup>の階級で示している。例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。

また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

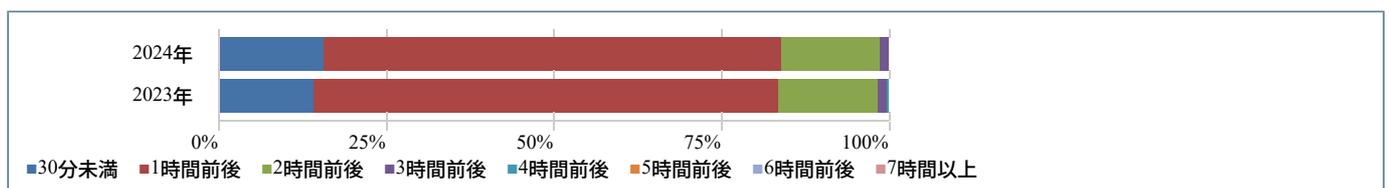
Q1.この授業を何回欠席しましたか。

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	103 36%	169 60%	10 4%	2 1%	0 0%	0.65



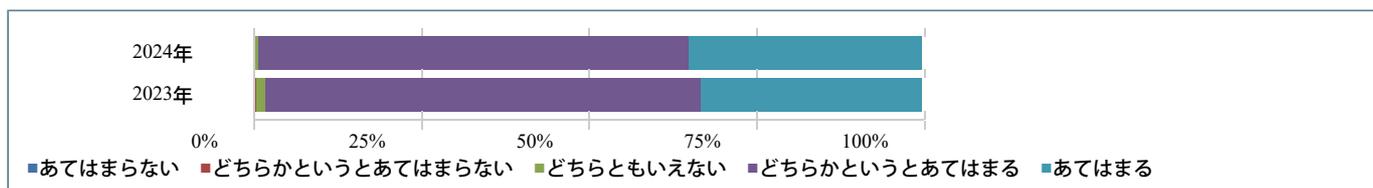
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか。

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	44 15%	194 68%	42 15%	4 1%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1.00



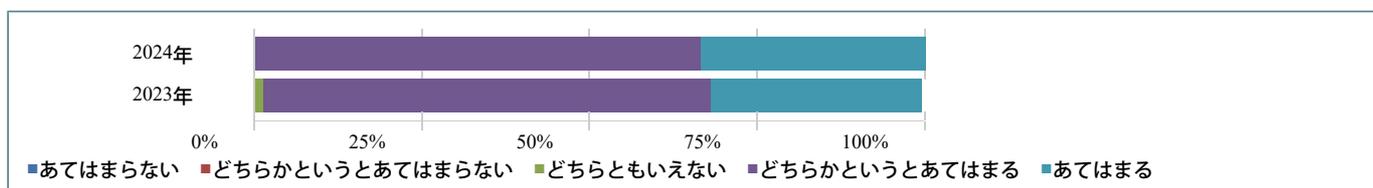
Q3.この授業に積極的に取り組んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	2	183	99	4.38
	0%	0%	1%	64%	35%	



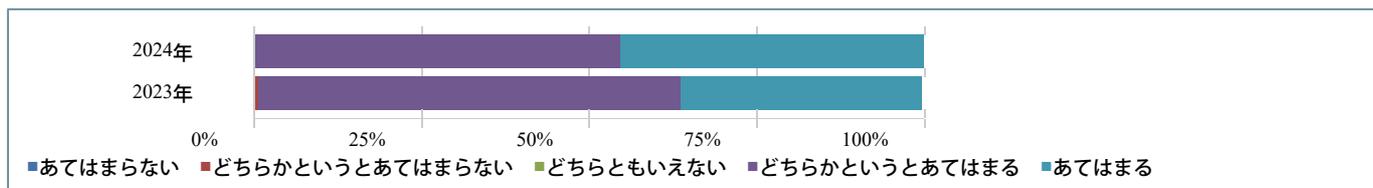
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	189	95	4.35
	0%	0%	0%	67%	33%	



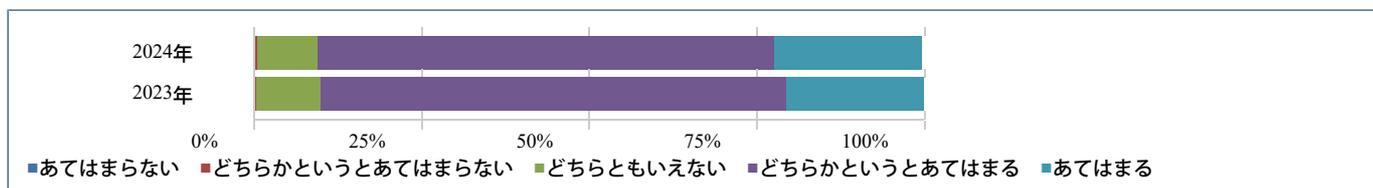
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	155	129	4.46
	0%	0%	0%	55%	45%	



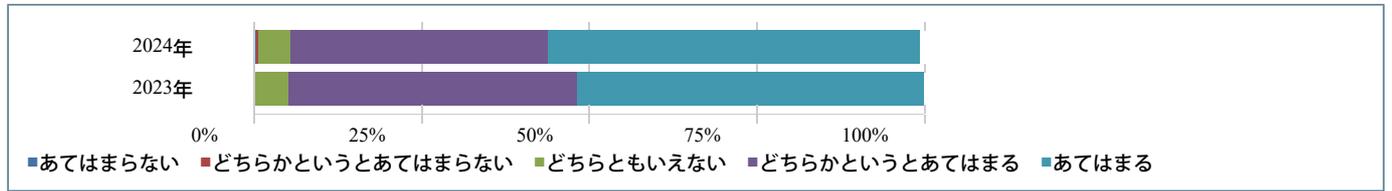
Q6.この授業の難易度は私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	1	26	194	63	4.15
	0%	0%	9%	68%	22%	



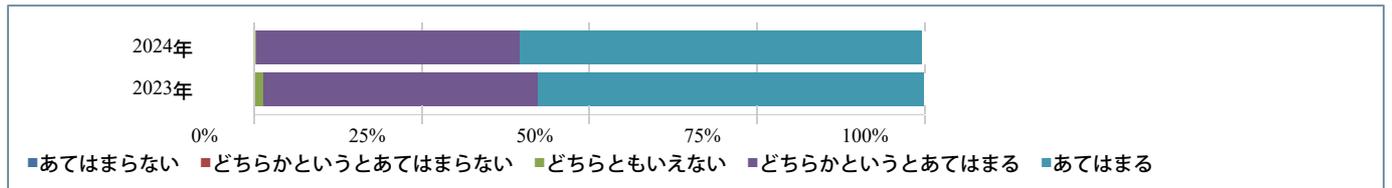
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	1	1	14	110	158	4.43
	0%	0%	5%	39%	56%	



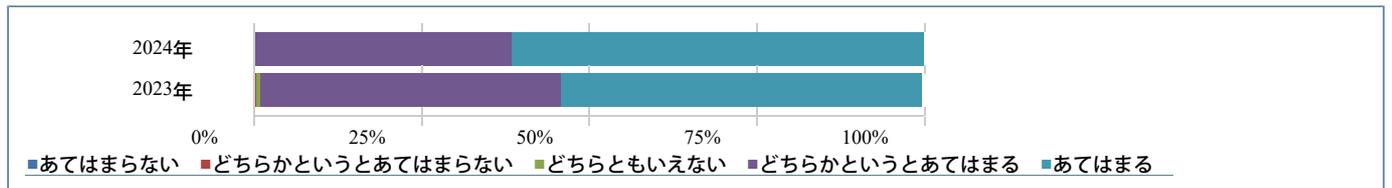
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	112	171	4.50
	0%	0%	0%	39%	60%	



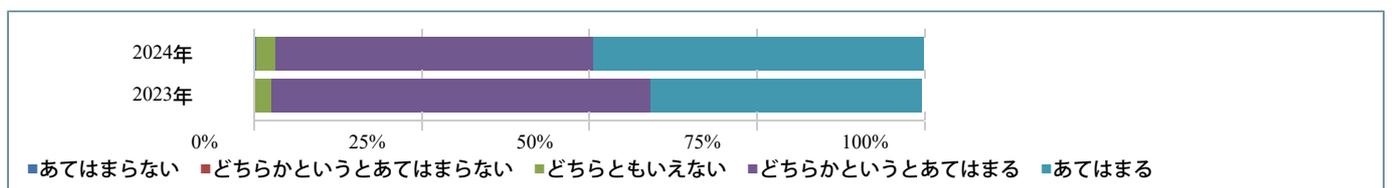
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	109	175	4.54
	0%	0%	0%	38%	62%	



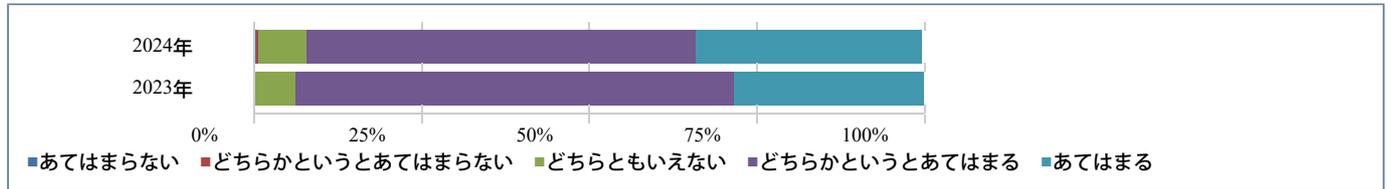
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	1	0	8	135	140	4.38
	0%	0%	3%	48%	49%	



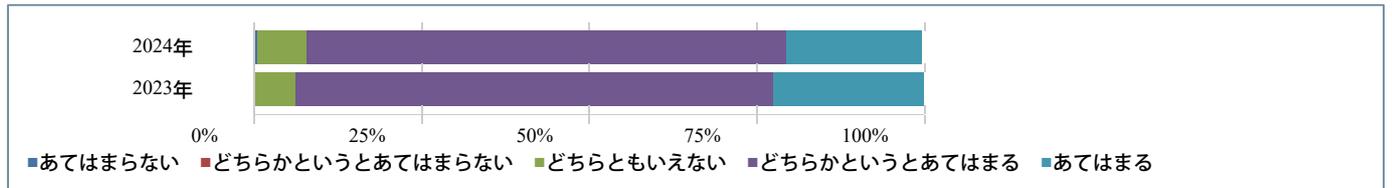
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	1 0%	1 0%	21 7%	165 58%	96 34%	4.25



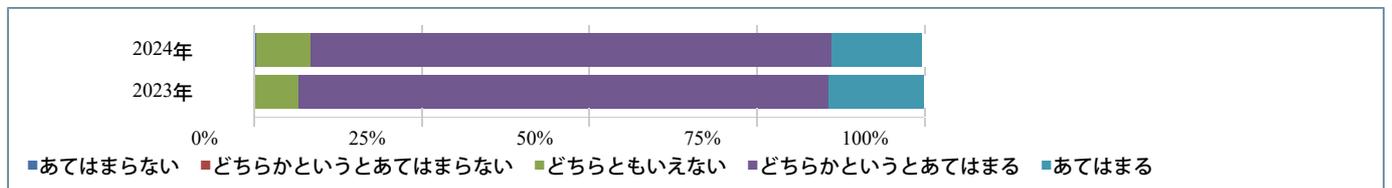
Q12.学生に質問をする機会が与えられた。(オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む)

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	1 0%	0 0%	22 8%	203 71%	58 20%	4.15



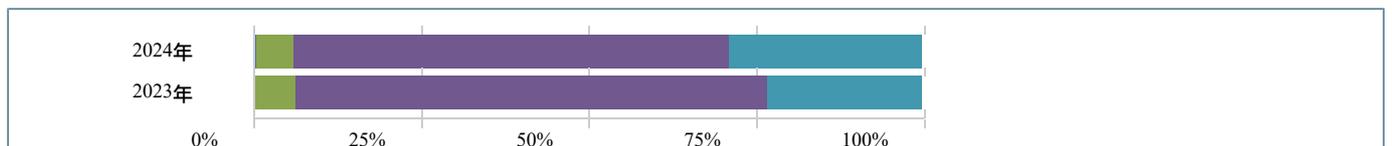
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	1 0%	0 0%	23 8%	221 78%	39 14%	4.06



Q14.この授業を全体として理解できた。

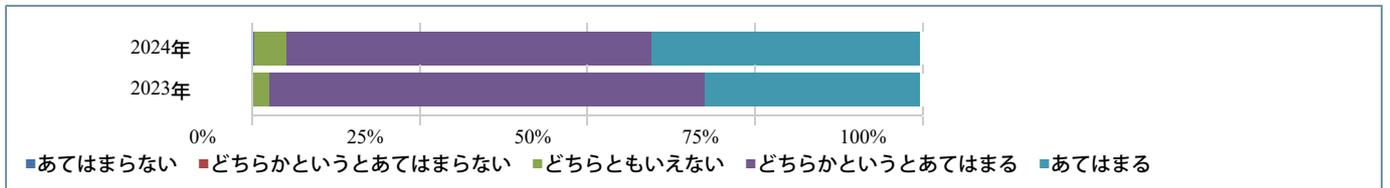
選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	1 0%	0 0%	16 6%	185 65%	82 29%	4.25



■あてはまらない ■どちらかというにあてはまらない ■どちらともいえない ■どちらかというにあてはまる ■あてはまる

Q15.総合的に判断して、この授業に満足した。

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	1	0	14	155	114	4.33
	0%	0%	5%	55%	40%	



2024年 前期 授業評価アンケート 教養教育 講義 集計表

授業数

	アンケート対象授業数	回答授業数
実数	8	8
比率	—	100

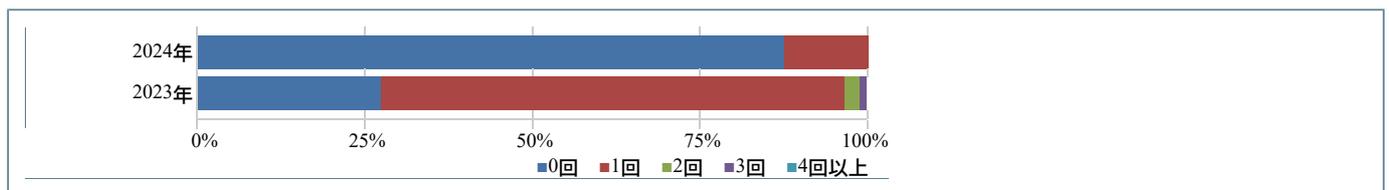
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均回答率
0	2	2	1	1	1	1	0	0	0	36%
0%	25%	25%	13%	13%	13%	13%	0%	0%	0%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。  
 それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅<sup>1</sup>の階級で示している。  
 例えば、平均値 0.5～1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。  
 また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。  
 学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

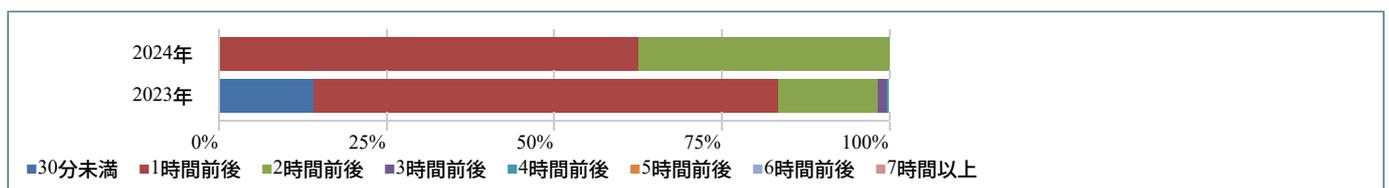
Q1.この授業を何回欠席しましたか。

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	7 88%	1 13%	0 0%	0 0%	0 0%	0.15



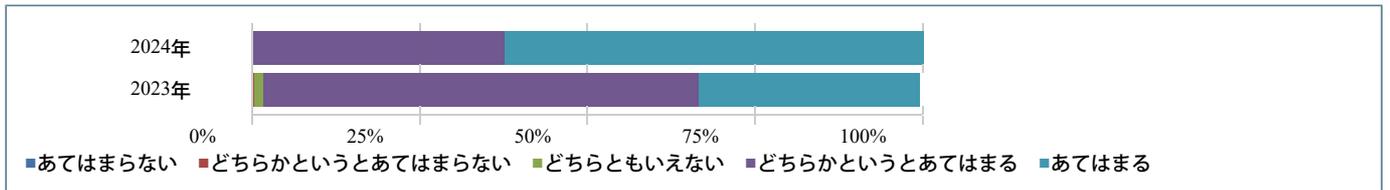
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか。

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	0 0%	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1.21



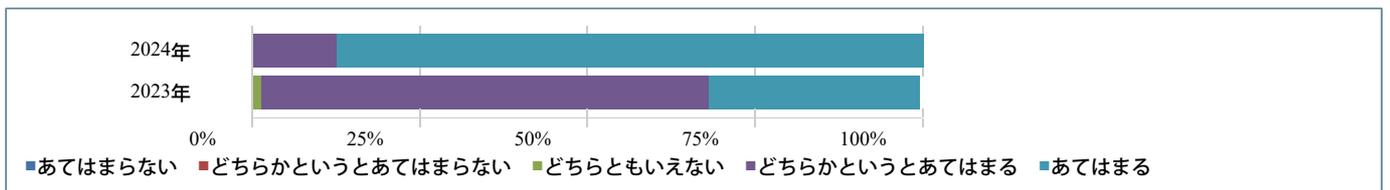
Q3.この授業に積極的に取り組んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	3	5	4.53
	0%	0%	0%	38%	63%	



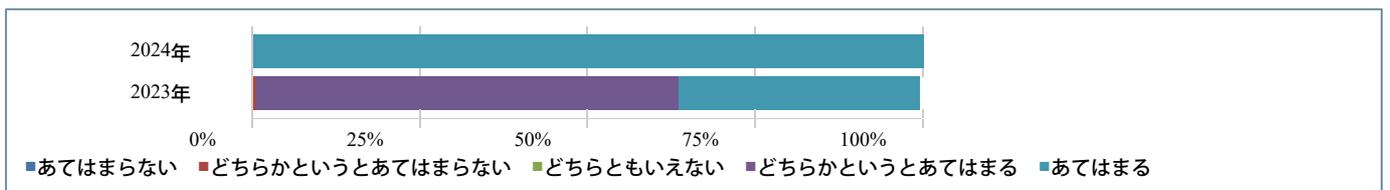
Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	7	4.80
	0%	0%	0%	13%	88%	



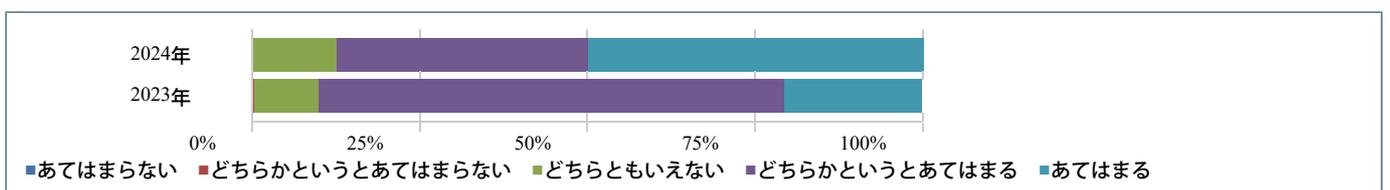
Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	8	4.69
	0%	0%	0%	0%	100%	



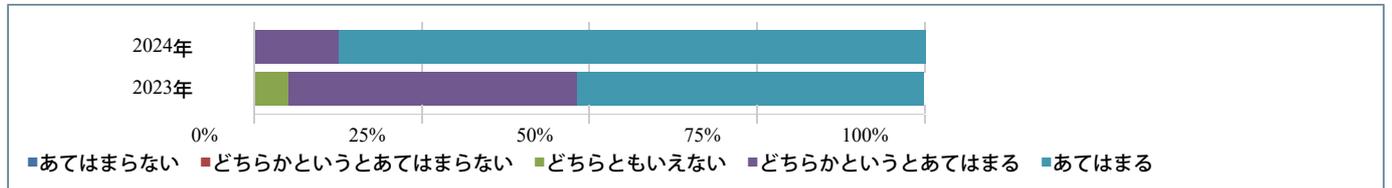
Q6.この授業の難易度は私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	3	4	4.40
	0%	0%	13%	38%	50%	



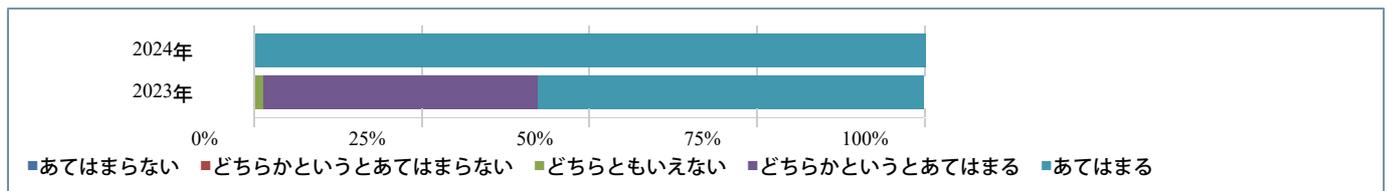
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	7	4.62
	0%	0%	0%	13%	88%	



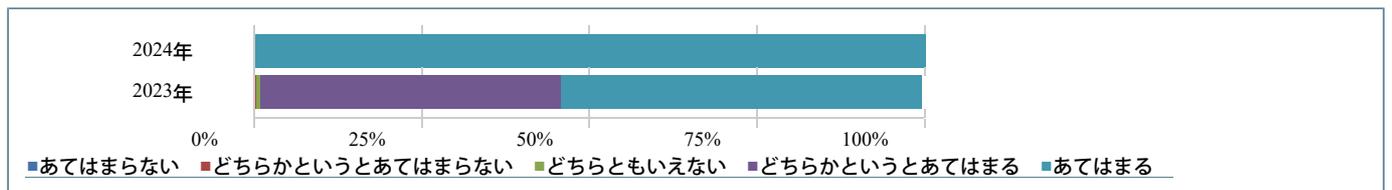
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	8	4.75
	0%	0%	0%	0%	100%	



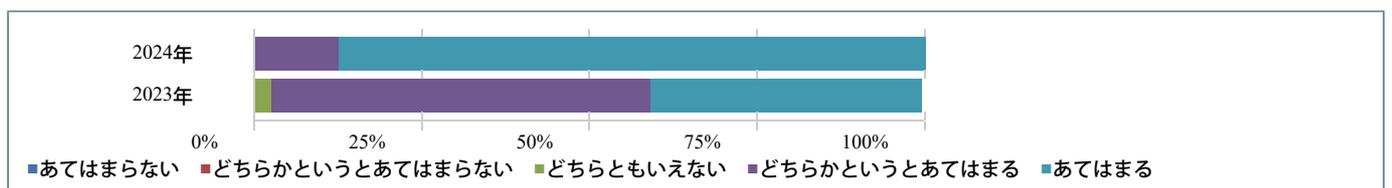
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	8	4.69
	0%	0%	0%	0%	100%	



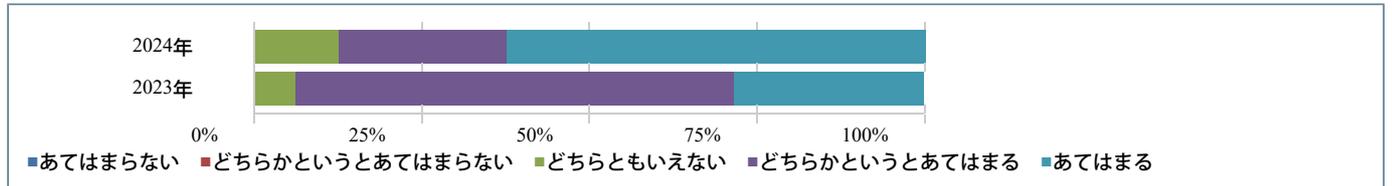
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	7	4.55
	0%	0%	0%	13%	88%	



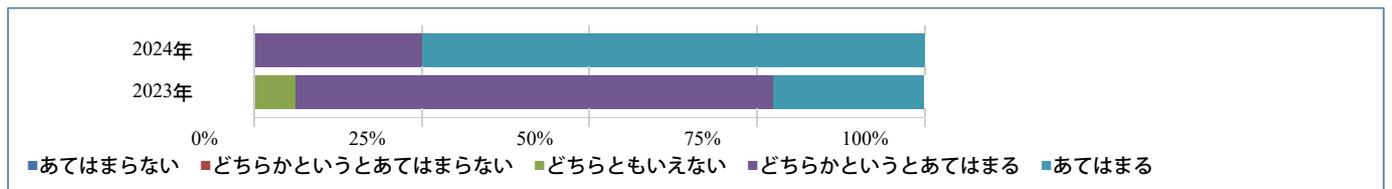
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	1 13%	2 25%	5 63%	4.43



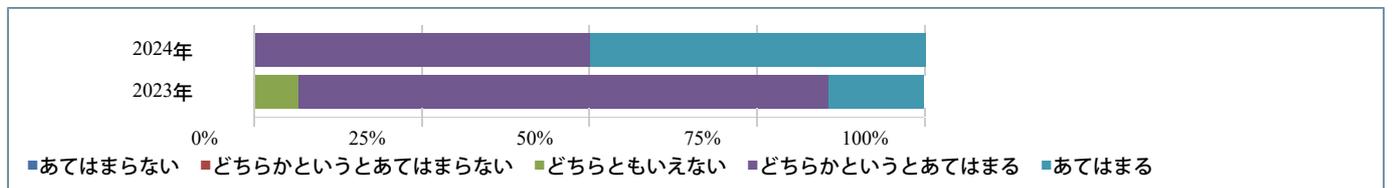
Q12.学生に質問をする機会が与えられた。(オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む)

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	2 25%	6 75%	4.59



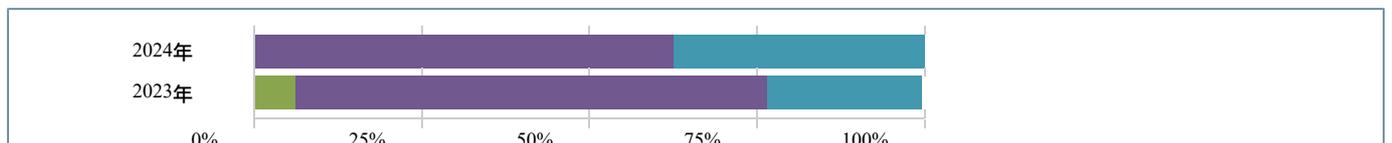
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	4 50%	4 50%	4.61



Q14.この授業を全体として理解できた。

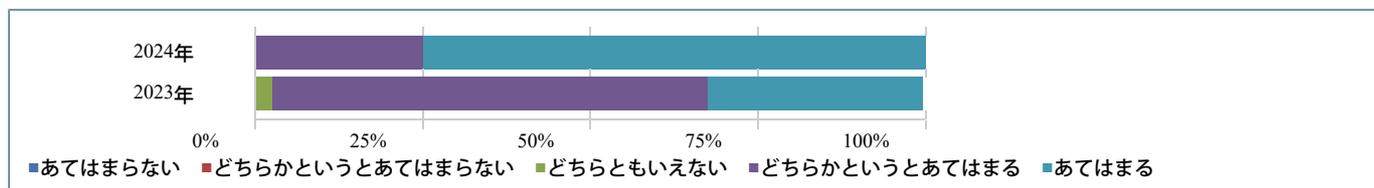
選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	5 63%	3 38%	4.45



■あてはまらない ■どちらかというにあてはまらない ■どちらともいえない ■どちらかというにあてはまる ■あてはまる

Q15.総合的に判断して、この授業に満足した。

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	2	6	4.52
	0%	0%	0%	25%	75%	



2024年 後期 授業評価アンケート 教養教育 講義 集計表

授業数

	アンケート対象授業数	回答授業数
実数	249	243
比率	—	98

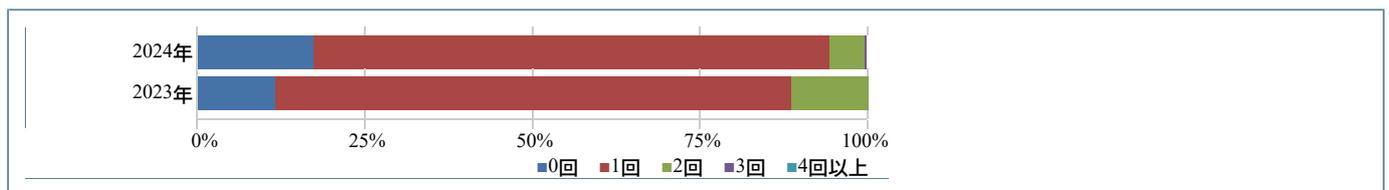
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均回答率
1	18	51	70	36	25	14	12	11	5	42%
0%	7%	21%	29%	15%	10%	6%	5%	5%	2%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。  
 それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅<sup>1</sup>の階級で示している。  
 例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。  
 また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。  
 学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

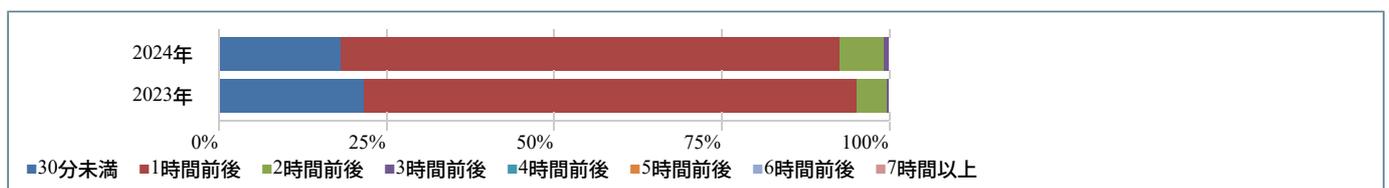
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	42 17%	187 77%	13 5%	1 0%	0 0%	0.82



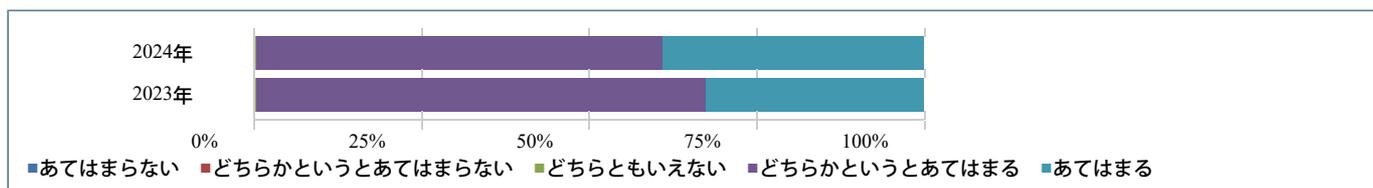
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	44 18%	181 74%	16 7%	2 1%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0.87



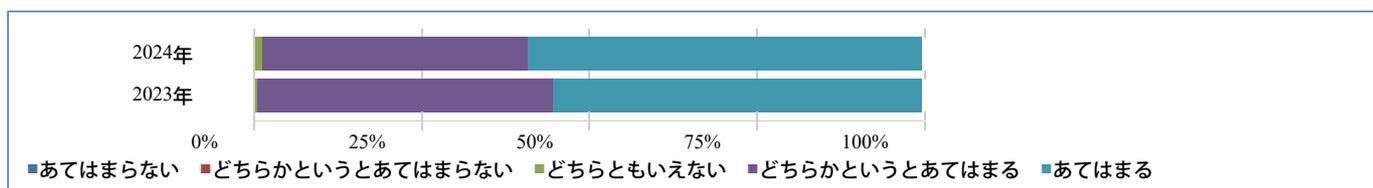
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	147	95	4.39
	0%	0%	0%	60%	39%	



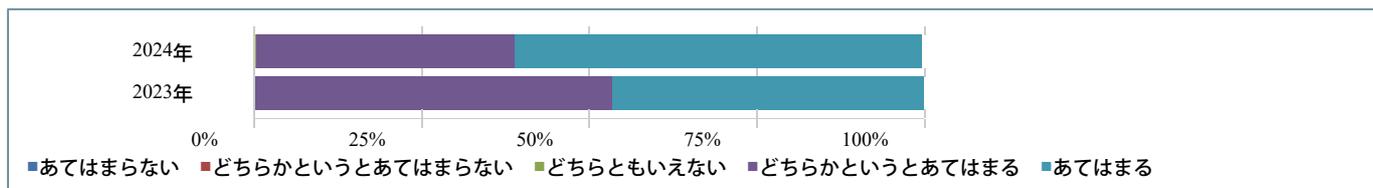
#### Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	3	97	143	4.50
	0%	0%	1%	40%	59%	



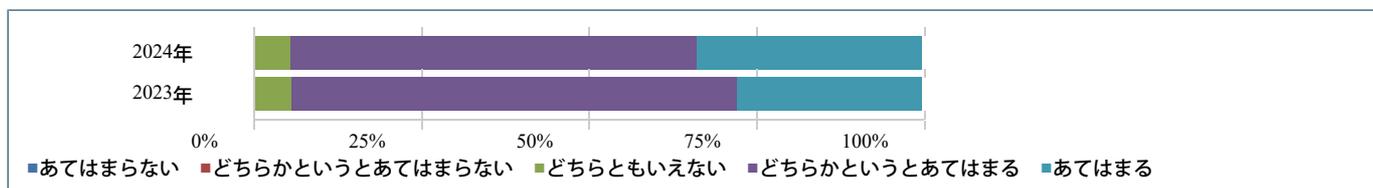
#### Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	94	148	4.52
	0%	0%	0%	39%	61%	



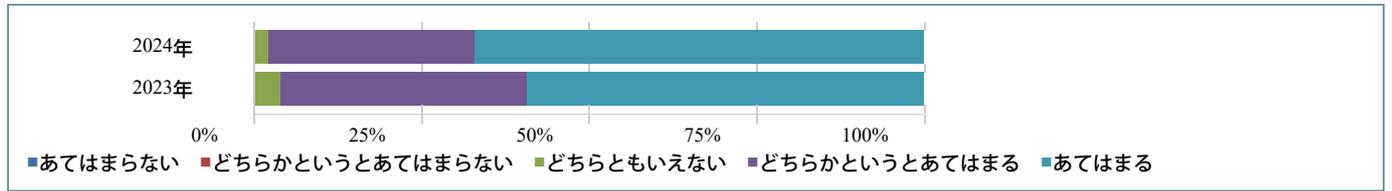
#### Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	13	148	82	4.29
	0%	0%	5%	61%	34%	



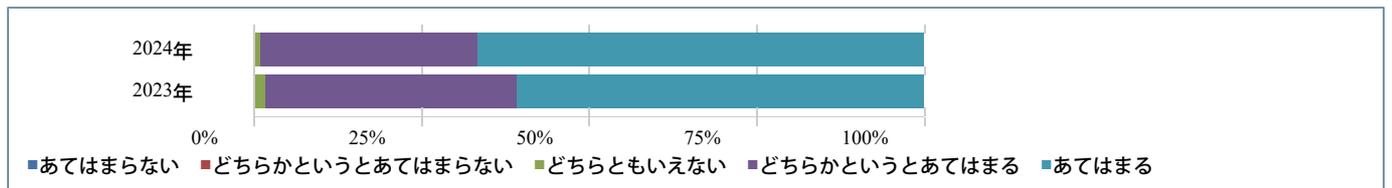
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	5	75	163	4.55
	0%	0%	2%	31%	67%	



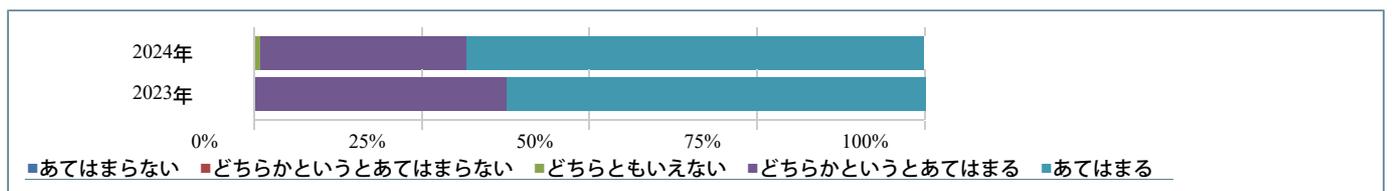
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	2	79	162	4.55
	0%	0%	1%	33%	67%	



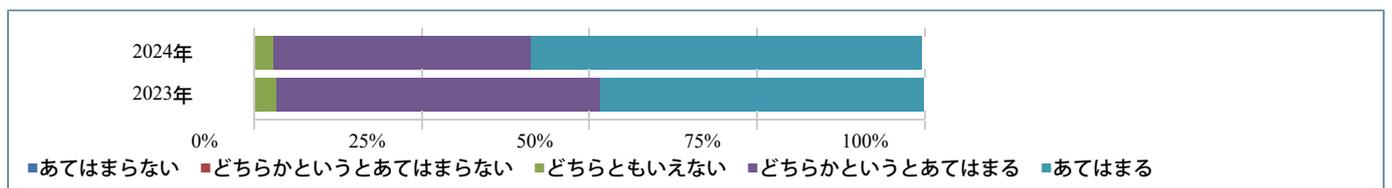
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	2	75	166	4.57
	0%	0%	1%	31%	68%	



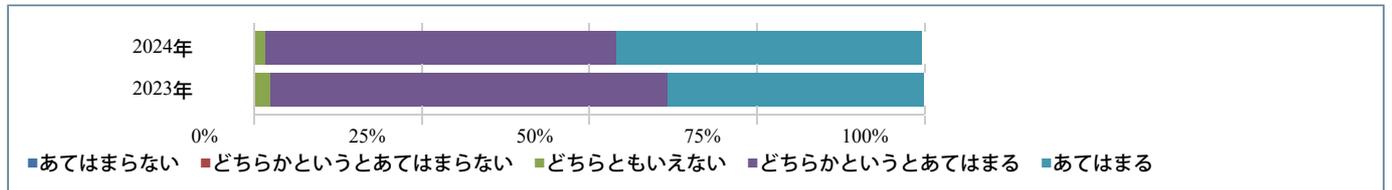
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	7	94	142	4.47
	0%	0%	3%	39%	58%	



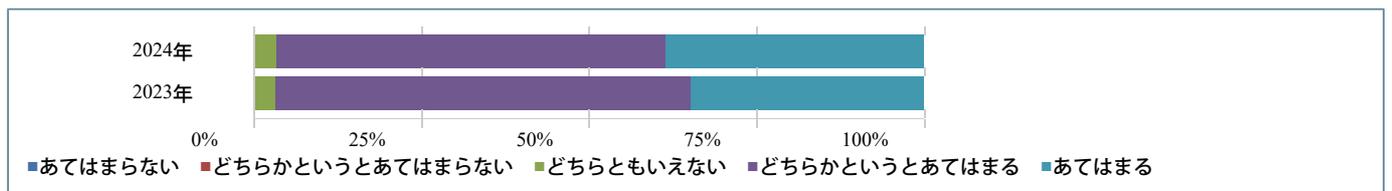
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	128	111	4.42
	0%	0%	2%	53%	46%	



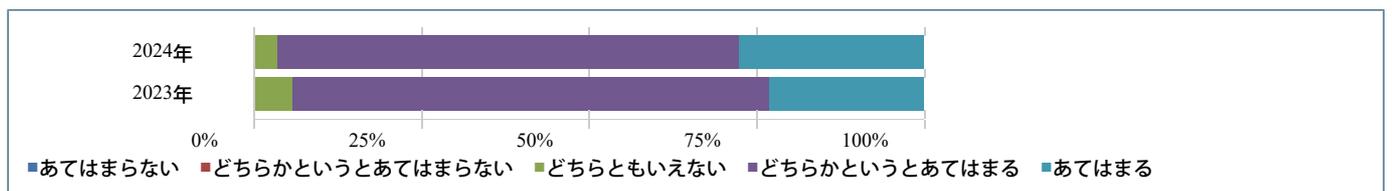
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	8	141	94	4.34
	0%	0%	3%	58%	39%	



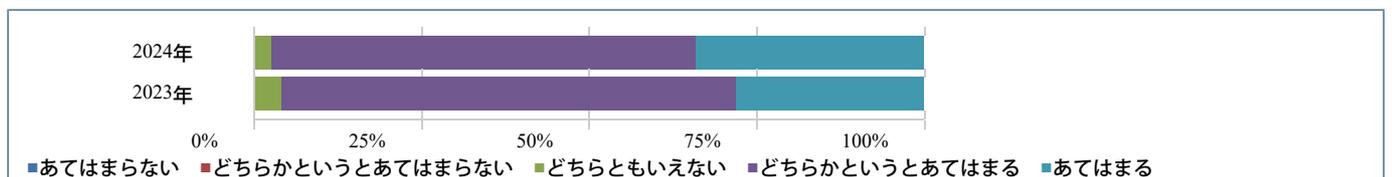
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	8	168	67	4.24
	0%	0%	3%	69%	28%	



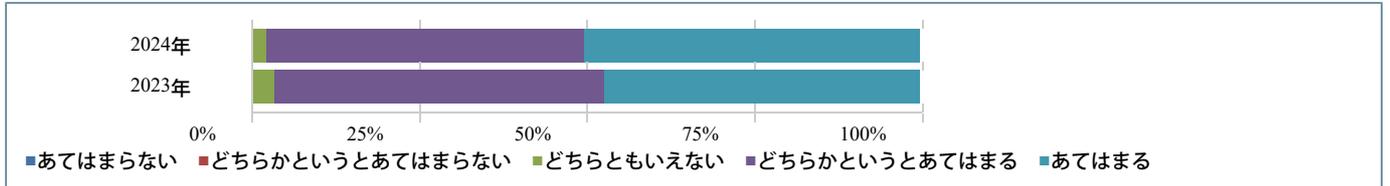
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	6	154	83	4.33
	0%	0%	2%	63%	34%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	5	116	122	4.44
	0%	0%	2%	48%	50%	



# 令和6年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【健康・スポーツ/実技】

2024年 前期 授業評価アンケート 教養教育 スポーツ・実技 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	41	41
比率	—	100

回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	2	14	12	2	9	2	0	56%
0%	0%	0%	5%	34%	29%	5%	22%	5%	0%	—

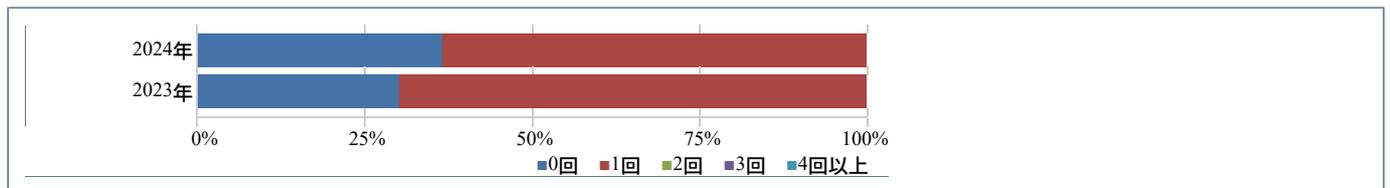
以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。

それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅<sup>1</sup>の階級で示している。  
例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。

また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。  
学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

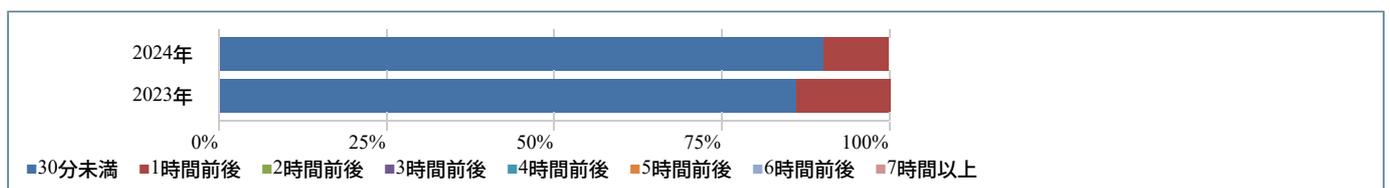
Q1.この授業を何回欠席しましたか。

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	15 37%	26 63%	0 0%	0 0%	0 0%	0.63



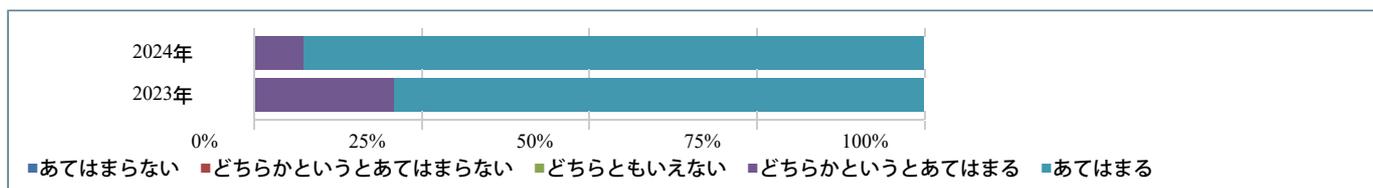
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか。

選択肢	30分未 満	1時間前 後	2時間前 後	3時間前 後	4時間前 後	5時間前 後	6時間前 後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	37 90%	4 10%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0.24



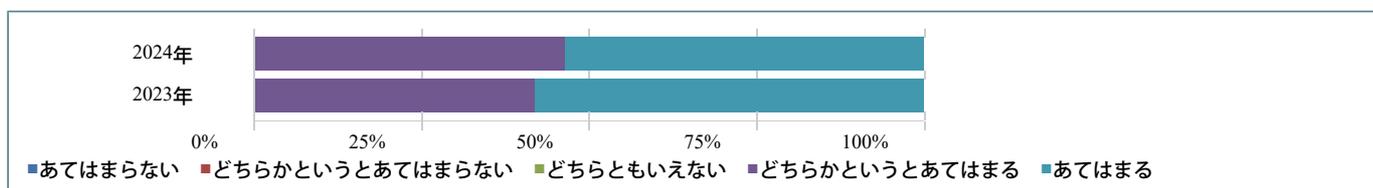
Q3.この授業に積極的に取り組んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	3	38	4.70
	0%	0%	0%	7%	93%	



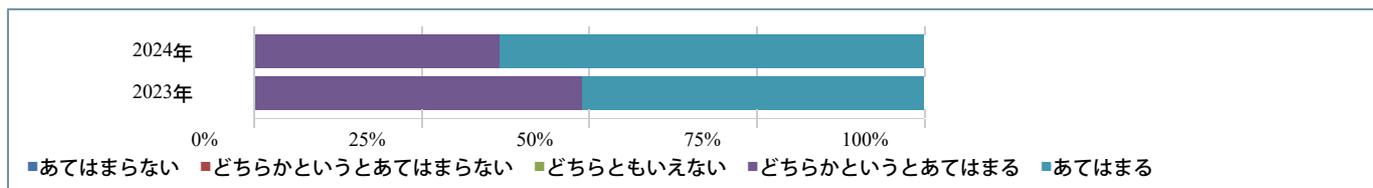
#### Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	19	22	4.49
	0%	0%	0%	46%	54%	



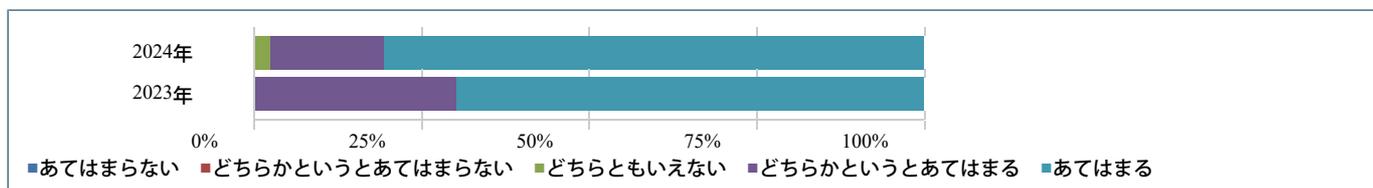
#### Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	15	26	4.49
	0%	0%	0%	37%	63%	



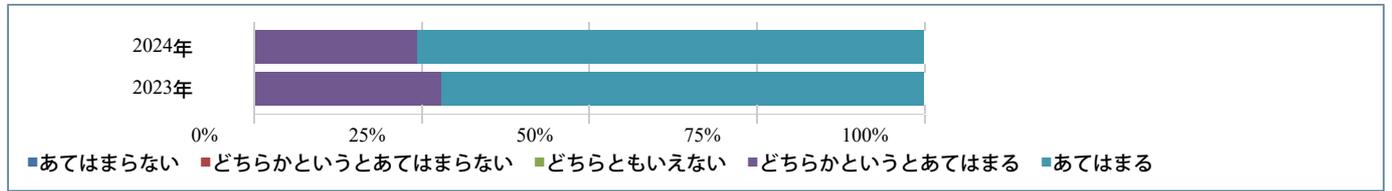
#### Q6.この授業の難易度は私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	1	7	33	4.62
	0%	0%	2%	17%	80%	



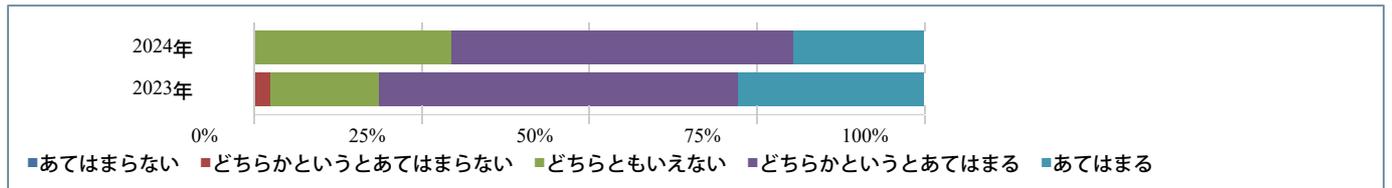
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	10	31	4.64
	0%	0%	0%	24%	76%	



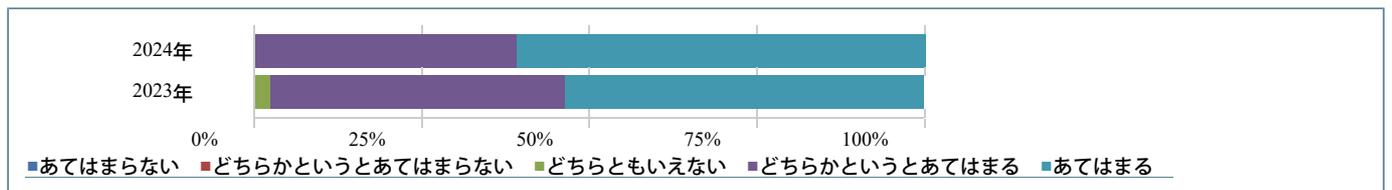
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	12	21	8	3.91
	0%	0%	29%	51%	20%	



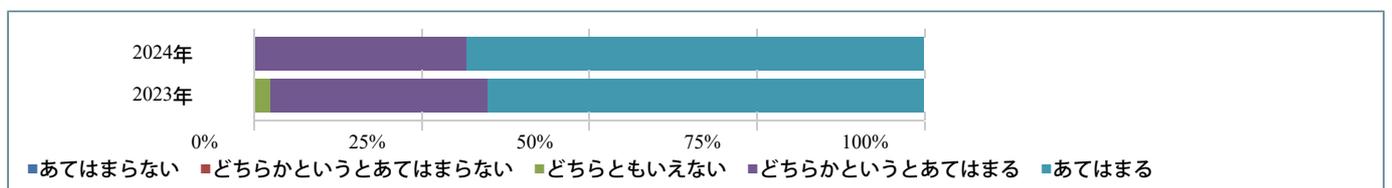
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	16	25	4.54
	0%	0%	0%	39%	61%	



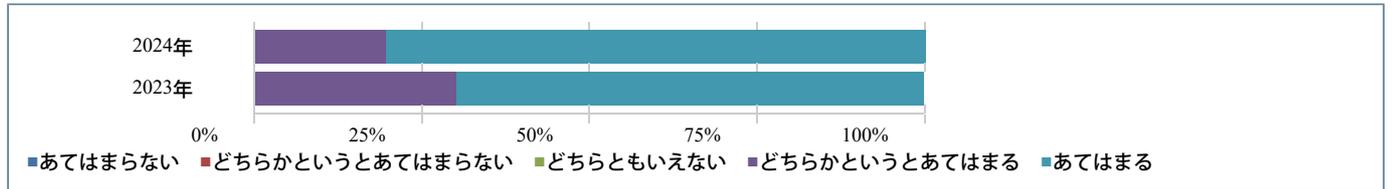
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	13	28	4.52
	0%	0%	0%	32%	68%	



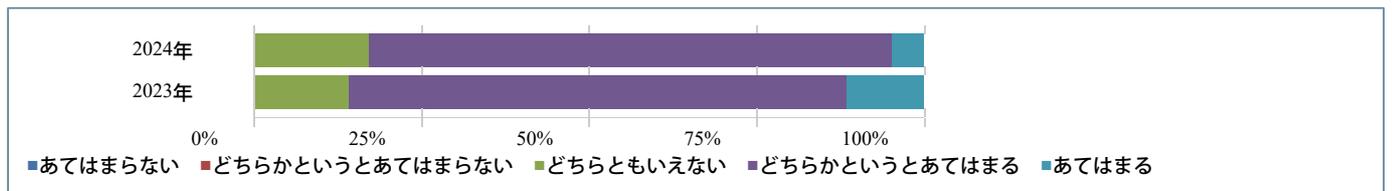
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	8	33	4.65
	0%	0%	0%	20%	80%	



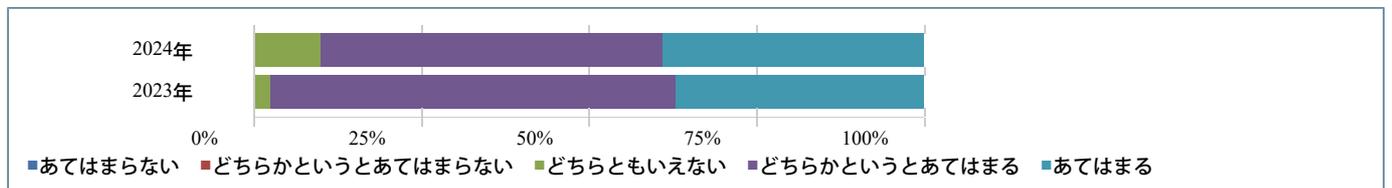
Q12.学生に質問をする機会が与えられた。(オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む)

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	7	32	2	3.92
	0%	0%	17%	78%	5%	



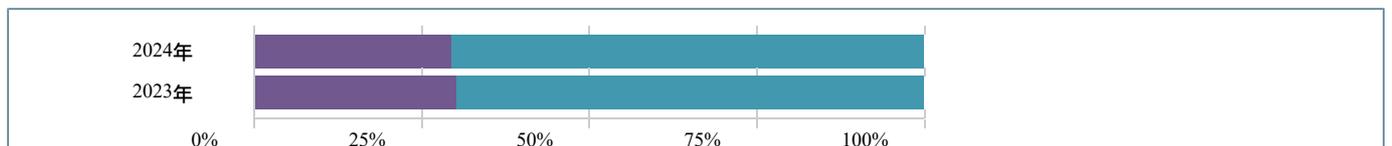
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	4	21	16	4.27
	0%	0%	10%	51%	39%	



Q14.この授業を全体として理解できた。

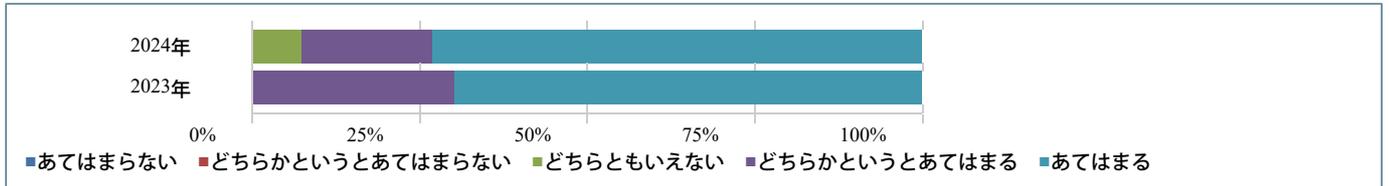
選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	12	29	4.56
	0%	0%	0%	29%	71%	



■あてはまらない ■どちらかというにあてはまらない ■どちらともいえない ■どちらかというにあてはまる ■あてはまる

Q15.総合的に判断して、この授業に満足した。

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	3	8	30	4.56
	0%	0%	7%	20%	73%	



# 令和6年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【健康・スポーツ/講義】

2024年 後期 授業評価アンケート 教養教育 スポーツ・講義 集計表

授業数

	アンケート対象授業数	回答授業数
実数	10	10
比率	—	100

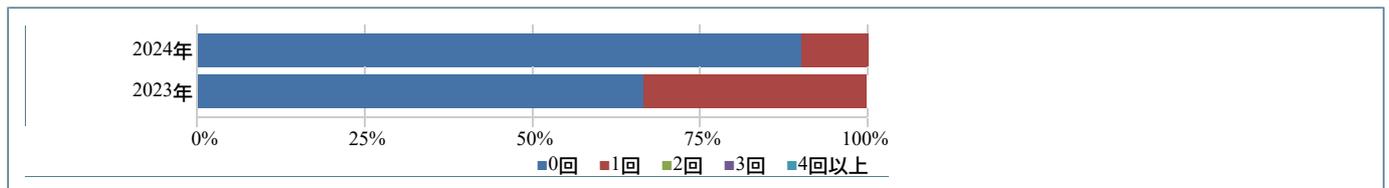
回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均回答率
0	0	0	0	0	2	4	2	1	1	70%
0%	0%	0%	0%	0%	20%	40%	20%	10%	10%	—

以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。  
 それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅<sup>1</sup>の階級で示している。  
 例えば、平均値 0.5 ～ 1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。  
 また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。  
 学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

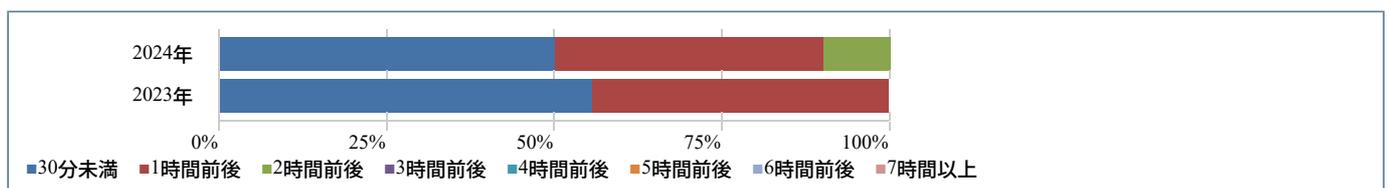
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	9	1	0	0	0	0.34
	90%	10%	0%	0%	0%	



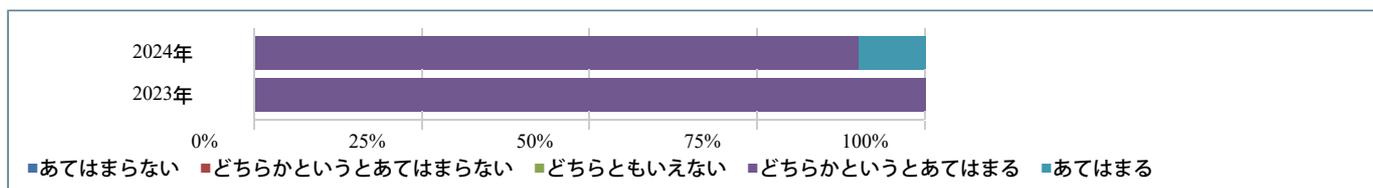
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	5	4	1	0	0	0	0	0	0.56
	50%	40%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	



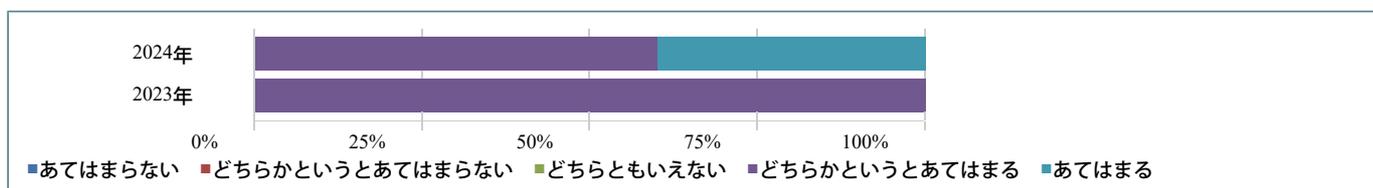
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	9	1	4.29
	0%	0%	0%	90%	10%	



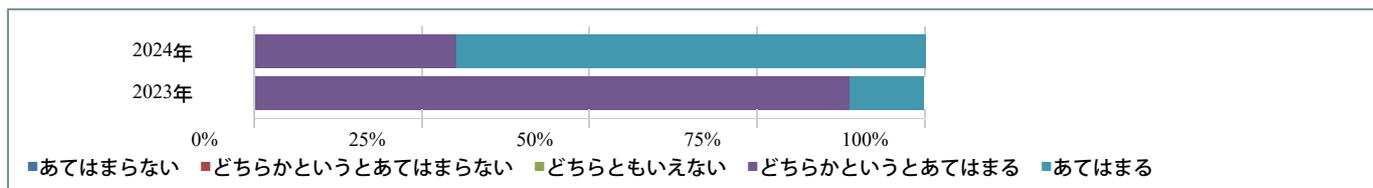
#### Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	6	4	4.47
	0%	0%	0%	60%	40%	



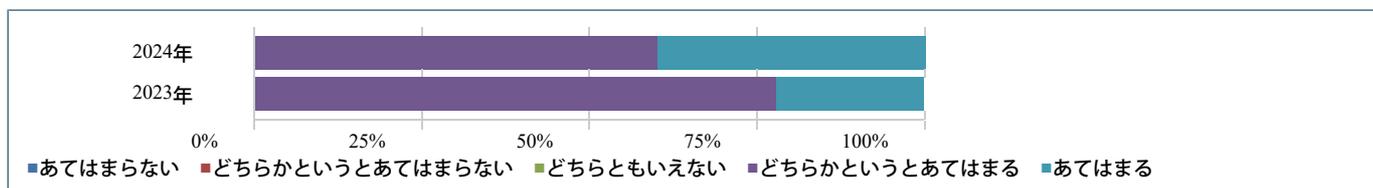
#### Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	3	7	4.48
	0%	0%	0%	30%	70%	



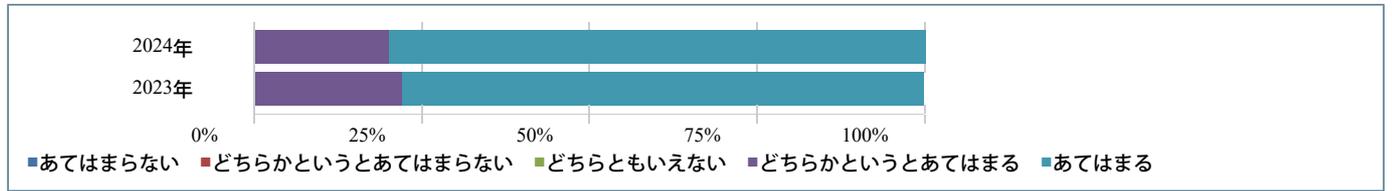
#### Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	6	4	4.41
	0%	0%	0%	60%	40%	



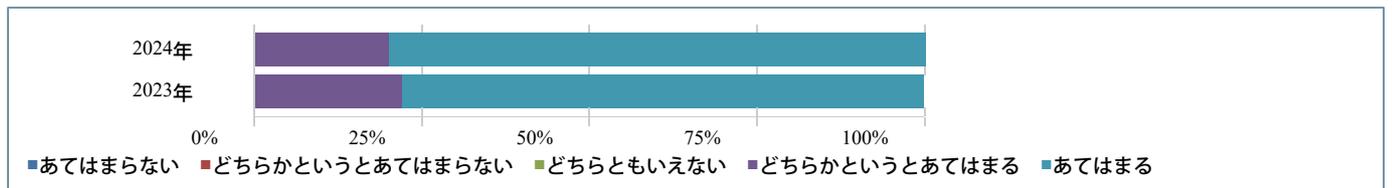
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	8	4.65
	0%	0%	0%	20%	80%	



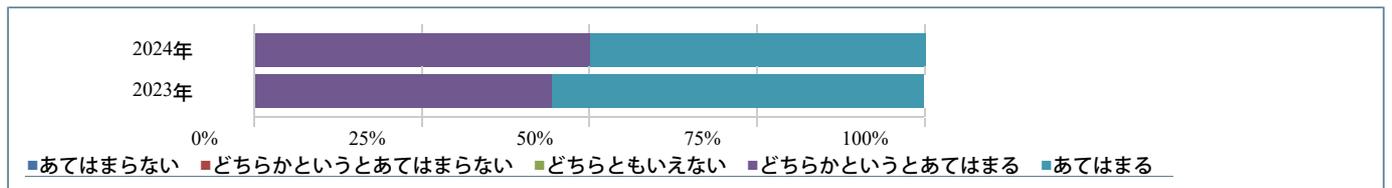
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	8	4.61
	0%	0%	0%	20%	80%	



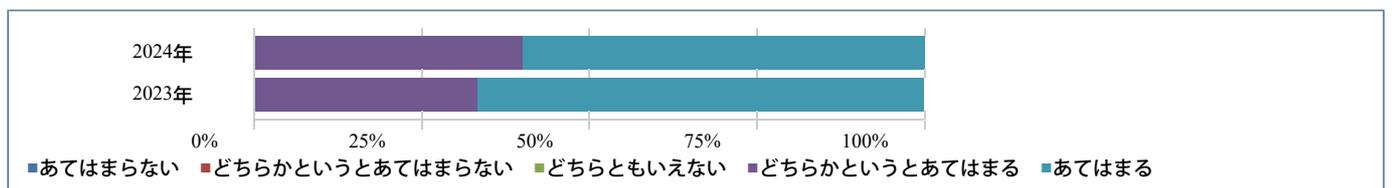
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	5	5	4.56
	0%	0%	0%	50%	50%	



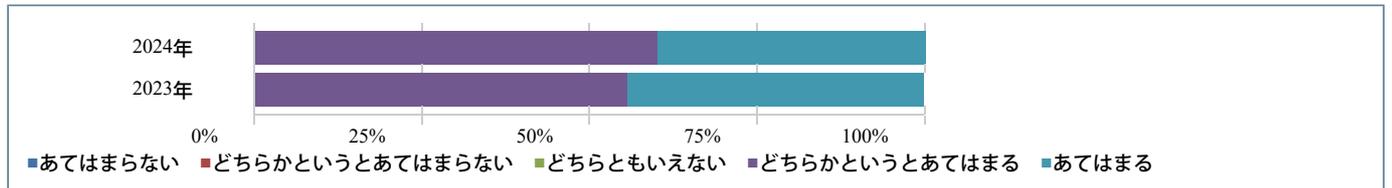
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	4	6	4.51
	0%	0%	0%	40%	60%	



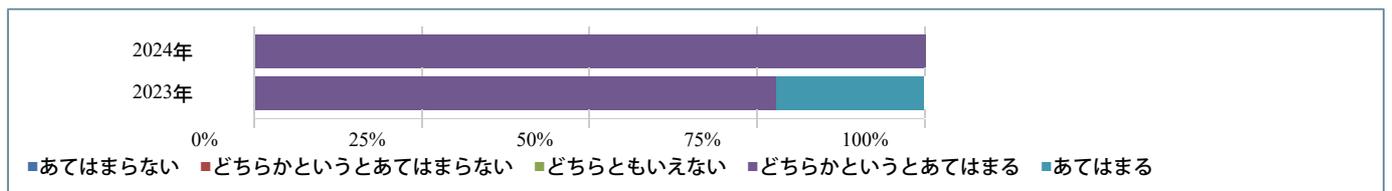
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	6 60%	4 40%	4.52



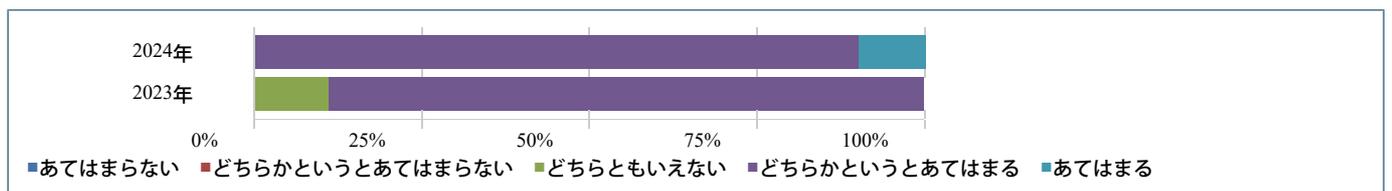
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%	0 0%	4.16



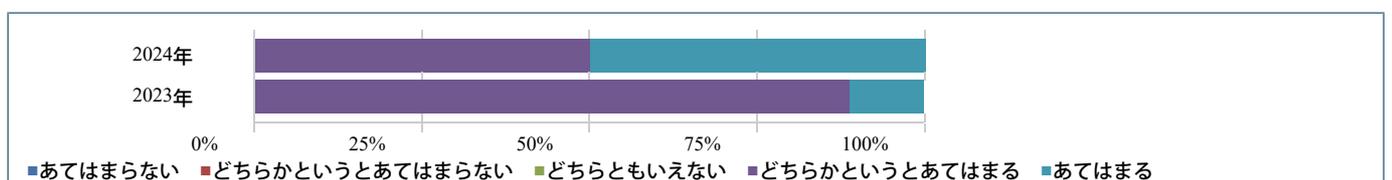
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	9 90%	1 10%	4.04



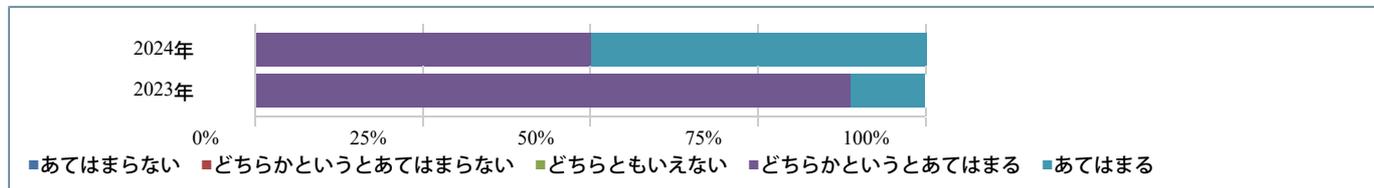
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	5 50%	5 50%	4.37



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	5	5	4.34
	0%	0%	0%	50%	50%	



# 令和6年度 学生による授業評価 アンケート集計表

教養教育科目【実験科目】

2024年 前期 授業評価アンケート 教養教育 実験 集計表

授業数

	アンケート 対象授業数	回答授業数
実数	2	2
比率	—	100

回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均 回答率
0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	50%
0%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	—

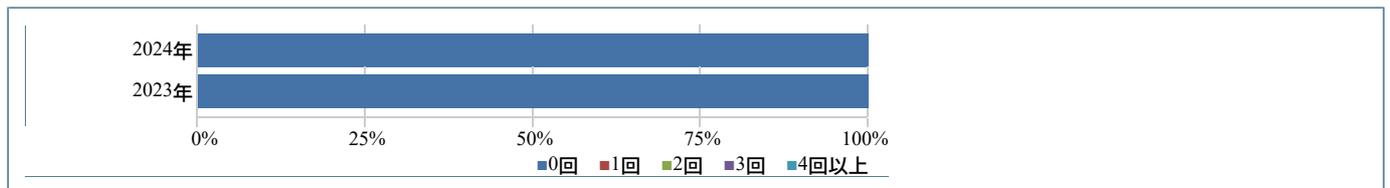
以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。

それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅1の階級で示している。例えば、平均値 0.5～1.5 の欄に 10 という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が 0.5 以上 1.5 未満であった授業が 10 あったことを示している。

また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。学年別の集計は、当該学年の学生が 5 人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

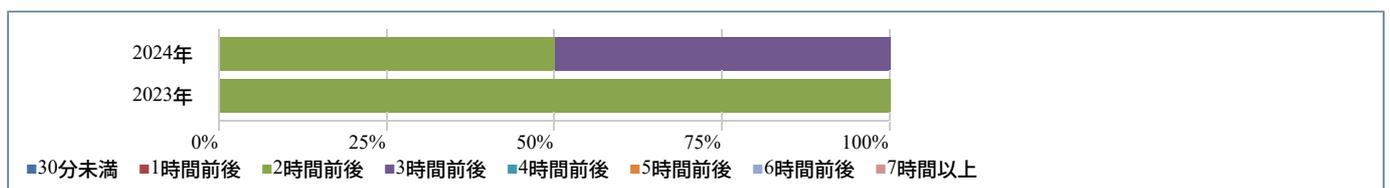
Q1.この授業を何回欠席しましたか。

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	2 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0.07



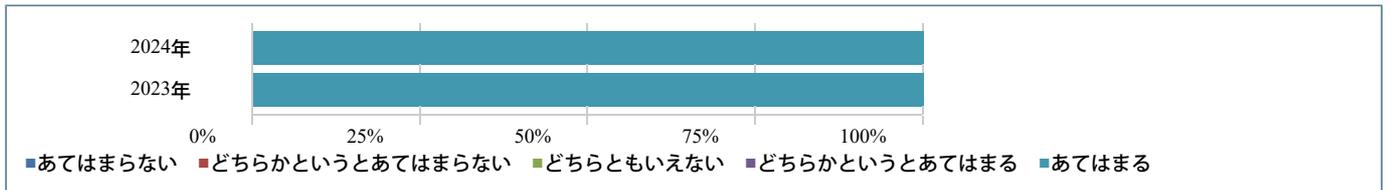
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか。

選択肢	30分未 満	1時間前 後	2時間前 後	3時間前 後	4時間前 後	5時間前 後	6時間前 後	7時間以上	平均値 の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	0 0%	0 0%	1 50%	1 50%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2.14



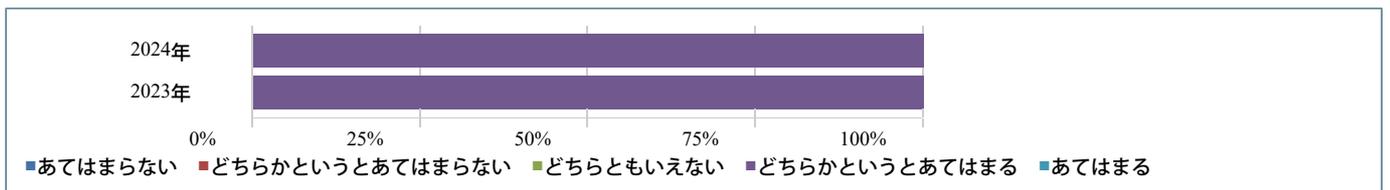
Q3.この授業に積極的に取り組んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.78
	0%	0%	0%	0%	100%	



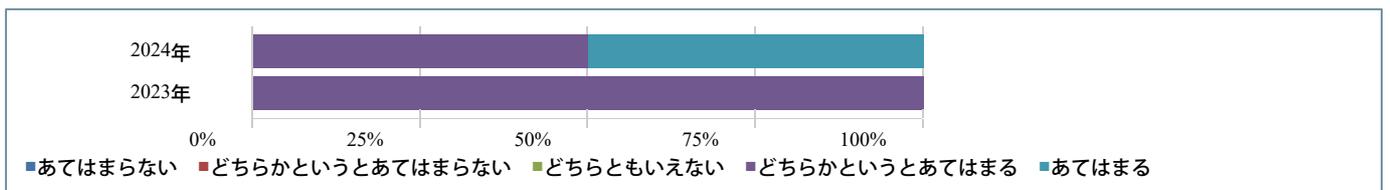
#### Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	3.96
	0%	0%	0%	100%	0%	



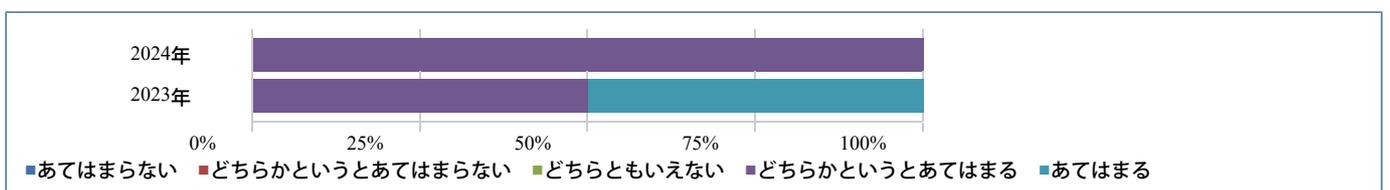
#### Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.35
	0%	0%	0%	50%	50%	



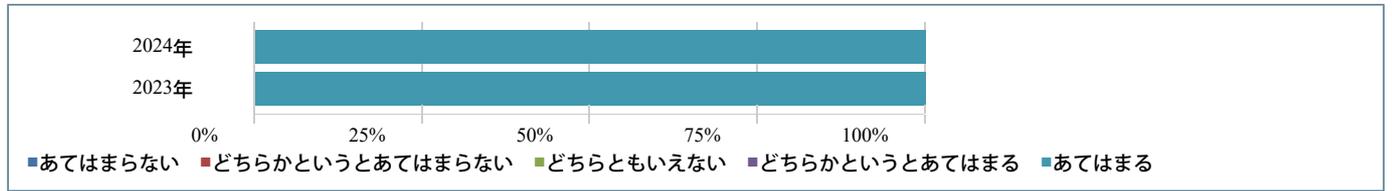
#### Q6.この授業の難易度は私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.39
	0%	0%	0%	100%	0%	



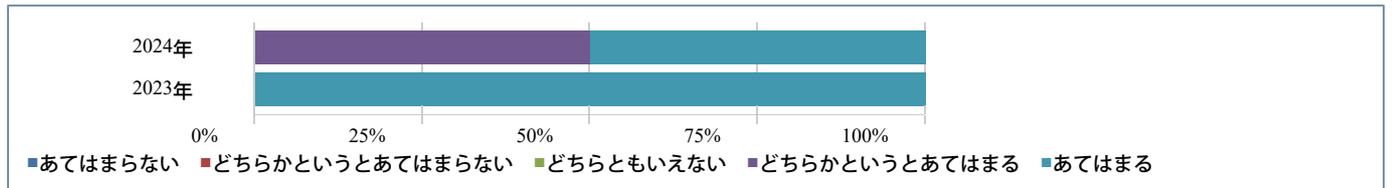
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.69
	0%	0%	0%	0%	100%	



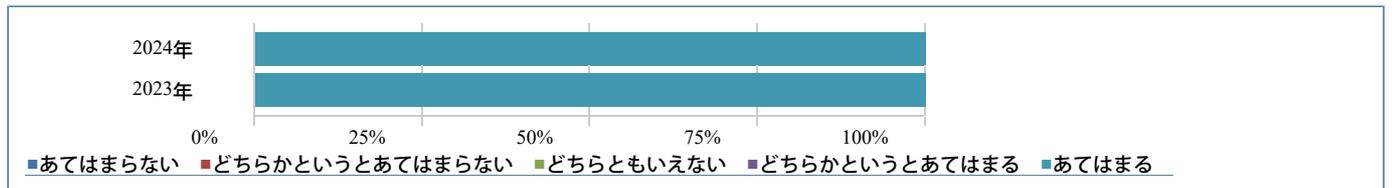
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.50
	0%	0%	0%	50%	50%	



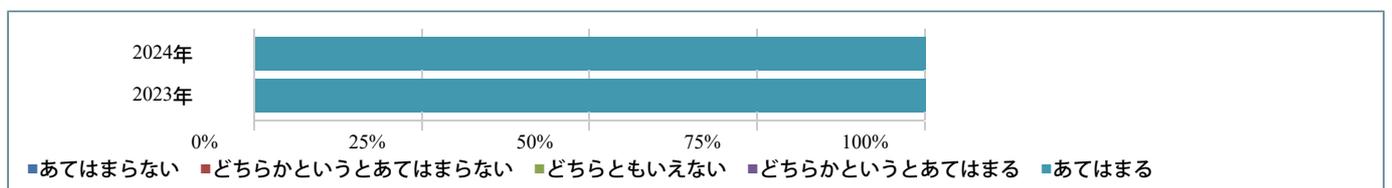
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.73
	0%	0%	0%	0%	100%	



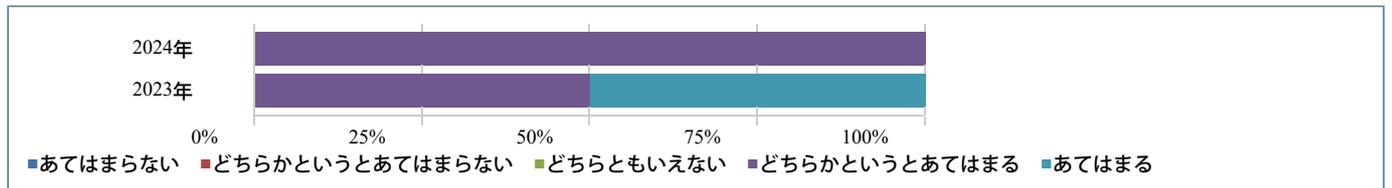
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.57
	0%	0%	0%	0%	100%	



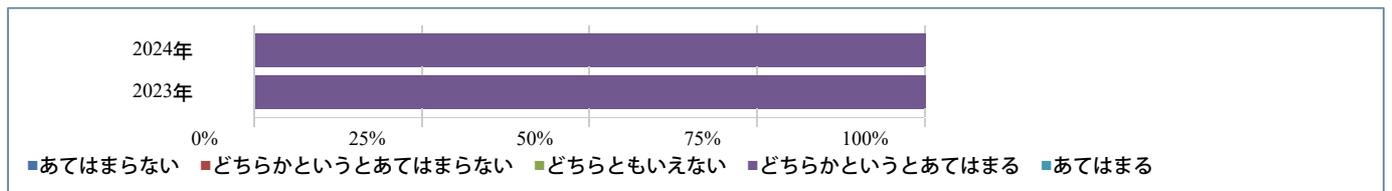
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	4.45



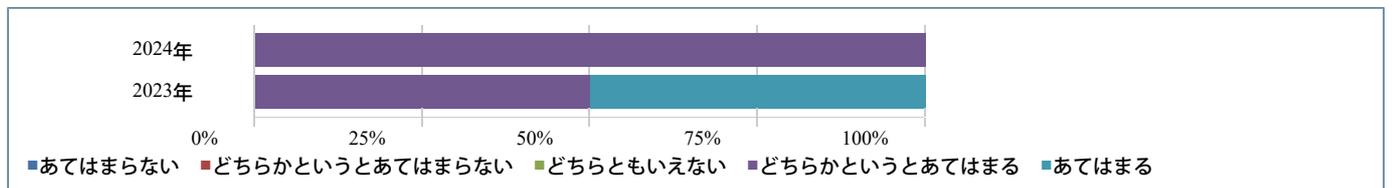
Q12.学生に質問をする機会が与えられた。(オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む)

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	4.36



Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した。

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	4.33



Q14.この授業を全体として理解できた。

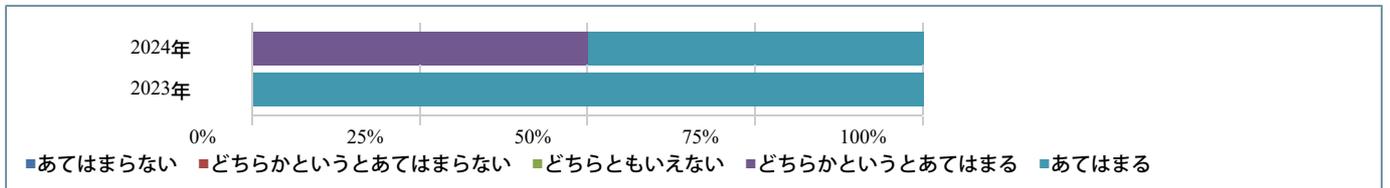
選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0 0%	0 0%	0 0%	1 50%	1 50%	4.39



■あてはまらない ■どちらかというにあてはまらない ■どちらともいえない ■どちらかというにあてはまる ■あてはまる

Q15.総合的に判断して、この授業に満足した。

選択肢	あてはまらない	どちらかというにあてはまらない	どちらともいえない	どちらかというにあてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	1	1	4.55
	0%	0%	0%	50%	50%	



2024年 後期 授業評価アンケート 教養教育 実験 集計表

授業数

	アンケート対象授業数	回答授業数
実数	2	2
比率	—	100

回答率

～10%	～20%	～30%	～40%	～50%	～60%	～70%	～80%	～90%	90%～	平均回答率
0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	36%
0%	0%	50%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	—

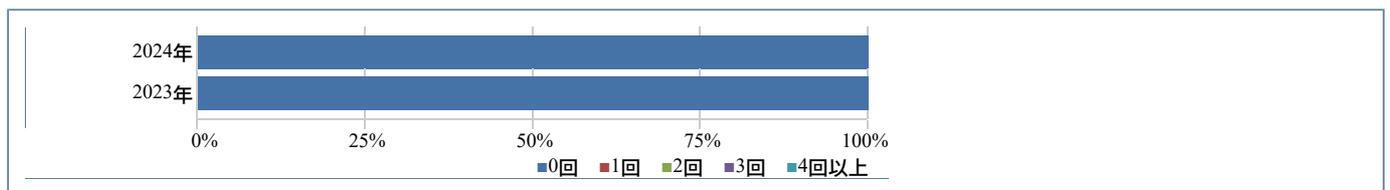
以下の集計表は、それぞれの授業で集計した結果を元に、部局全体の傾向を示すために授業を単位として集計したものである。

それぞれの授業で各質問の回答の平均値を算出し、その平均値の分布を幅1の階級で示している。例えば、平均値0.5～1.5の欄に10という数値が表示されていれば、それはその質問への回答の平均値が0.5以上1.5未満であった授業が10あったことを示している。

また、それぞれの授業の平均値をすべて足し合わせ授業数で割った、「平均値の平均」も算出している。学年別の集計は、当該学年の学生が5人以上回答した授業について、当該学年の回答や平均値を算出し、それを元に全体での集計と同様の処理を行ったものである。学部別、学科別の集計も同様である。

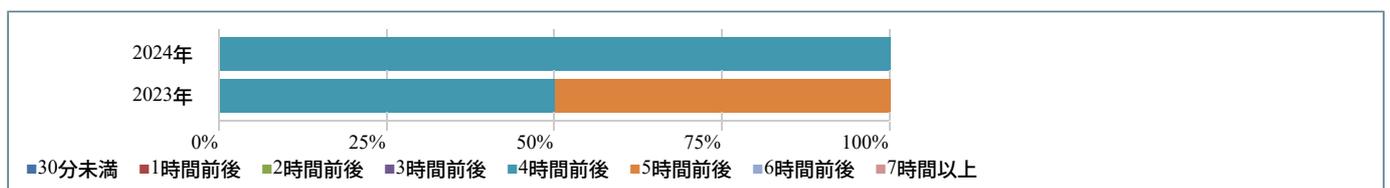
Q1.この授業を何回欠席しましたか

選択肢	0回	1回	2回	3回	4回以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	3.5～	
全体	2	0	0	0	0	0.09
	100%	0%	0%	0%	0%	



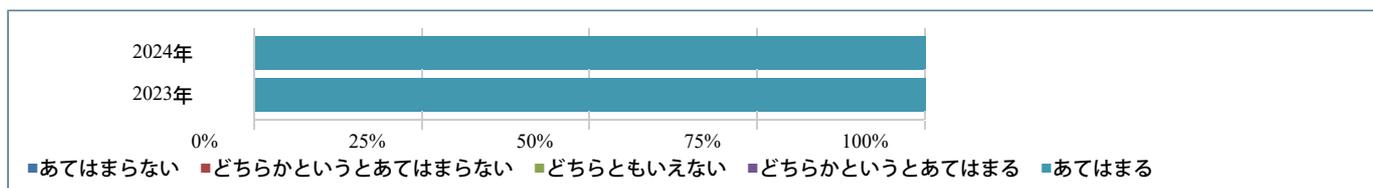
Q2.この授業の授業外学習（予習・復習・課題等）時間は、1週間で平均何時間でしたか

選択肢	30分未満	1時間前後	2時間前後	3時間前後	4時間前後	5時間前後	6時間前後	7時間以上	平均値の平均
平均値	～0.5	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	～5.5	～6.5	6.5～	
全体	0	0	0	0	2	0	0	0	4.07
	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	



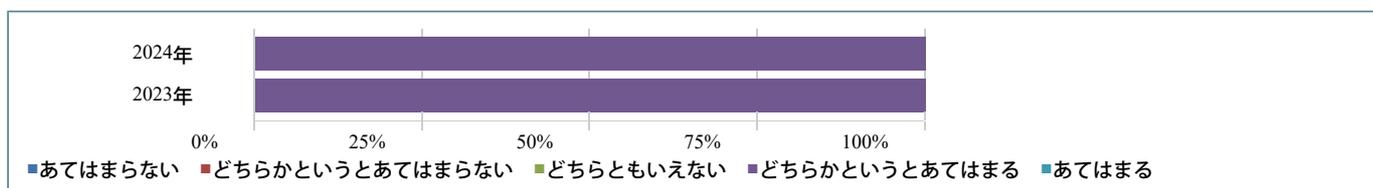
Q3.この授業に積極的に取り組んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.87
	0%	0%	0%	0%	100%	



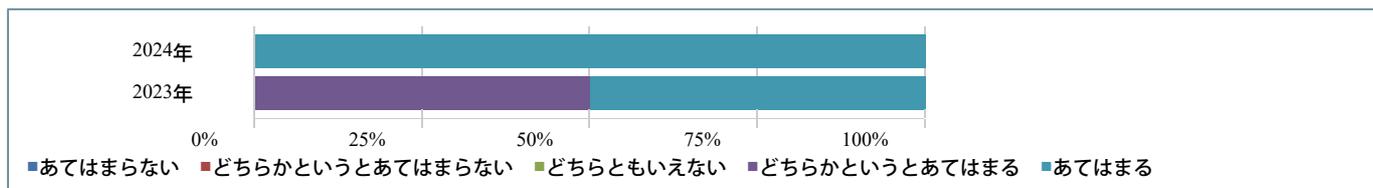
#### Q4.この授業の開始前にシラバスを読んだ

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.34
	0%	0%	0%	100%	0%	



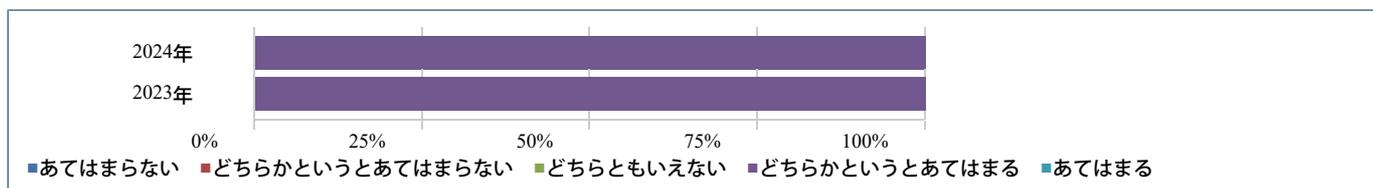
#### Q5.この授業の内容はシラバスに書かれているとおりだった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.62
	0%	0%	0%	0%	100%	



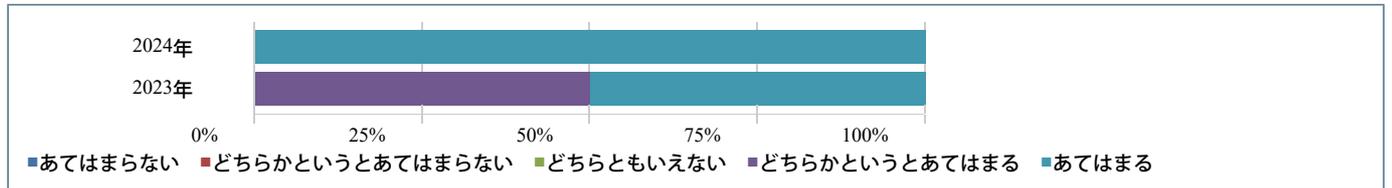
#### Q6.この授業の難易度は私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.25
	0%	0%	0%	100%	0%	



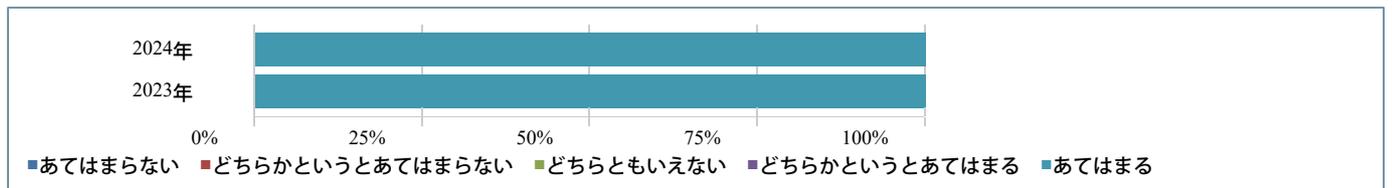
Q7.教員の言葉は聞き取りやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	0	2	4.70
	0%	0%	0%	0%	100%	



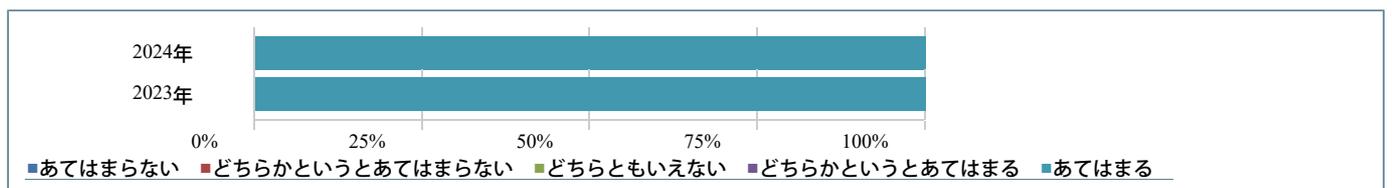
Q8.板書、プロジェクタ、プリント等の説明補助手段（遠隔授業ツールも含む）は授業内容の理解に役立った

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	0	2	4.73
	0%	0%	0%	0%	100%	



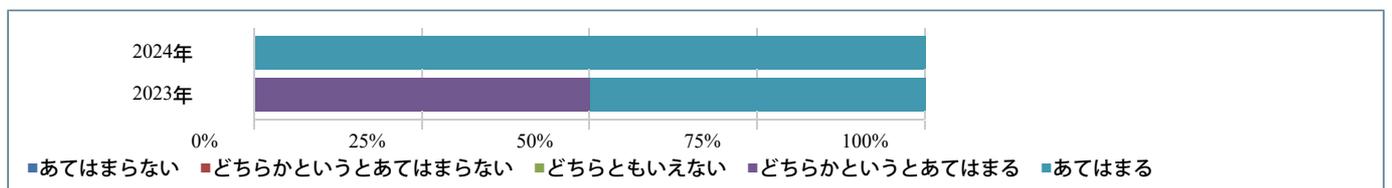
Q9.授業中は集中できる環境が維持されていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	0	2	4.84
	0%	0%	0%	0%	100%	



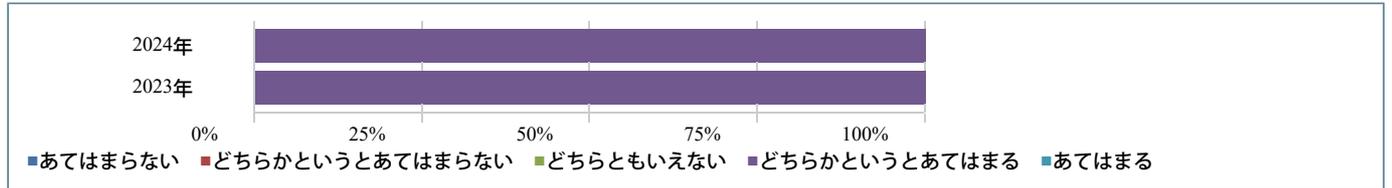
Q10.教員の説明は要領を得てわかりやすかった

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	0	2	4.66
	0%	0%	0%	0%	100%	



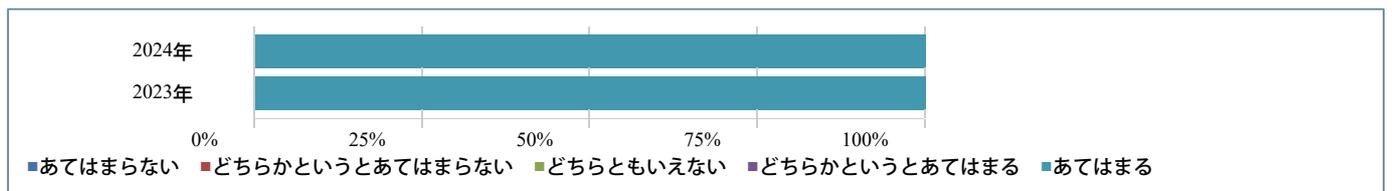
Q11.この授業の進む速さは私に合っていた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	2	0	4.22
	0%	0%	0%	100%	0%	



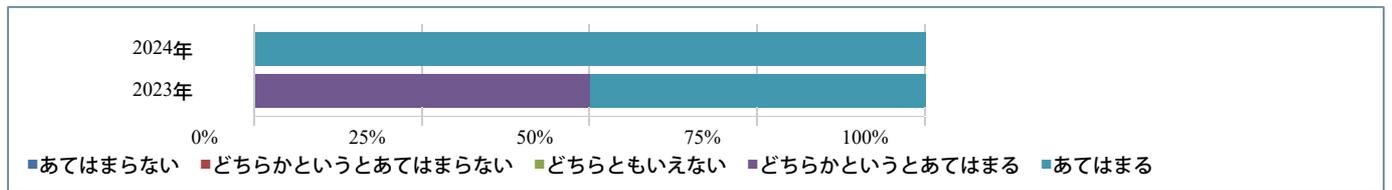
Q12.学生に質問をする機会が与えられた（オフィスアワーや質問の提出、遠隔授業のチャット機能等も含む）

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.67
	0%	0%	0%	0%	100%	



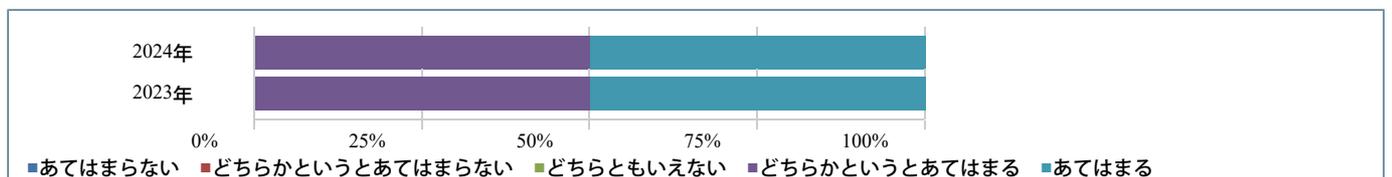
Q13.この授業の分野に対する興味関心が増した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	0	2	4.70
	0%	0%	0%	0%	100%	



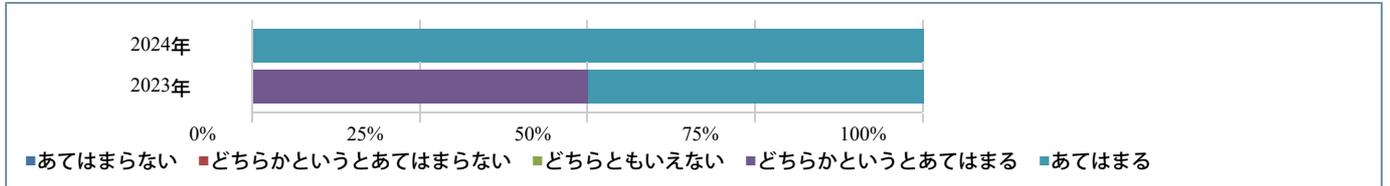
Q14.この授業を全体として理解できた

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	～1.5	～2.5	～3.5	～4.5	4.5～	
全体	0	0	0	1	1	4.52
	0%	0%	0%	50%	50%	



Q15.総合的に判断して、この授業に満足した

選択肢	あてはまらない	どちらかという あてはまらない	どちらともいえない	どちらかという あてはまる	あてはまる	平均値 の平均
平均値	~1.5	~2.5	~3.5	~4.5	4.5~	
全体	0	0	0	0	2	4.78
	0%	0%	0%	0%	100%	



# 参考資料

## 学生による授業評価 アンケート設問

令和6年度学生による授業評価アンケート（部局独自項目）

**【講義科目用・健康スポーツ講義用】**

- 1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 2) あなたが主体的に学ぶための工夫があった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 3) 他の学生との意見交換やコミュニケーションを行う機会が設けられていた
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる

**【健康スポーツ実技用】**

- 1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 2) 施設・設備、用具は満足のいくものだった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 3) 担当教員は学生の安全に配慮していた
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 4) なぜこの種目を選んだか（該当するものをいくつでも）
  1. この種目に興味があったから
  2. 友人と一緒に受けられるから
  3. 他に選択の余地がなかったから
  4. この種目が実用的であるから
  5. 教員免許取得のために必要だったから

**【実験科目用】**

- 1) 授業内容に対してクラス規模は適切であった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 2) 施設・設備、用具は満足のいくものだった
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる
  
- 3) 担当教員は学生の安全に配慮していた
  1. あてはまらない
  2. どちらかというにあてはまらない
  3. どちらともいえない
  4. どちらかというにあてはまる
  5. あてはまる

富山大学教養教育院  
令和6年度授業評価アンケートの分析

令和7年度教養教育院教育改善推進委員会

委員長 福田 翔  
片桐 達雄  
谷口 美樹  
水谷 秀樹  
杉森 保  
山岸 倫子  
井田智恵利